

総合的な学習の時間

単元プラン・他教科との関連集

平成31年3月

大分大学教育学部附属小学校

3年1組

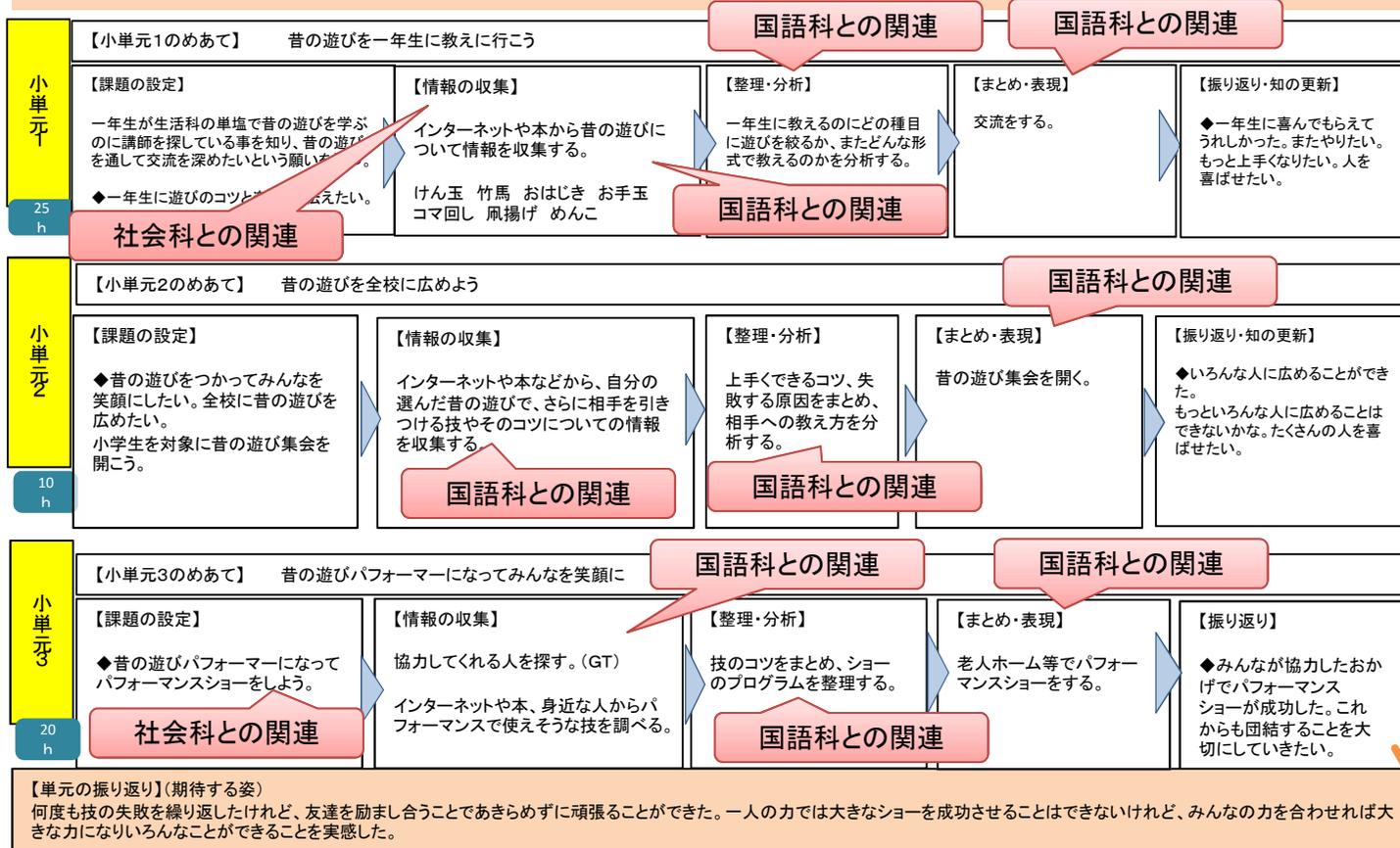
昔の遊びパフォーマンスショーで
みんなを笑顔に

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第3学年1組】

探究課題: 昔の遊びの面白さやそれに関わる人の思いや工夫

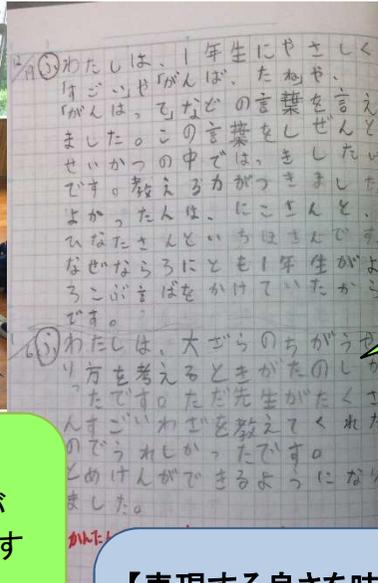
単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、昔の遊びの楽しさを体感したり、広めたりする活動を通して、自分を表現する良さを味わうことができるようにする。

単元のめあて: 昔の遊びパフォーマンスショーでみんなを笑顔に



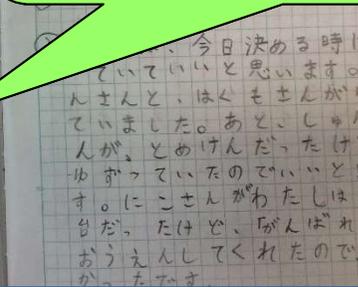
単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、昔の遊びの楽しさを体感したり、広めたりする活動を通して、自分を表現する良さを味わうことができるようにする。



【昔遊びの楽しさを体感する】

けん玉の大皿でちがうやり方を考えるのが楽しい。けん玉の先生がたくさん技を教えてくれてうれしかった。今までできなかったとめけんができるようになった。



【昔遊びの楽しさを広める】

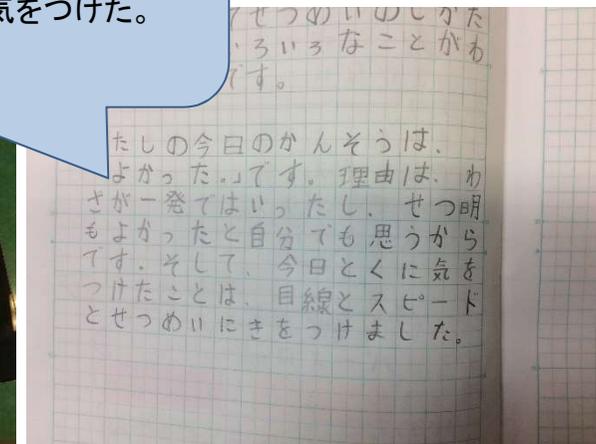
一年生に励ましの言葉をかけることができた。次はもっと一年生が分かりやすい言葉で伝えたいと思う。

()



【表現する良さを味わう】

今日の感想は「よかった」。技が一発で決まったし、説明も良かったと自分でも思う。とくに気をつけたことは目線と話すスピード、言葉に気をつけた。(自分の)



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 昔の遊びパフォーマンスショーでみんなを元気に(小学校第3学年:55時間)

時期	9月～12月	1月～2月	3月
探究の過程	昔の遊びを一年生に教えに行こう 【一年生編】 (25時間)	昔の遊びを全校に広めよう 【全校編】 (15時間)	昔の遊びパフォーマンスになって地域を笑顔に 【地域編】 (15時間)
課題設定	【課題の設定】 一年生が生活科の単塩で昔の遊びを学ぶのに講師を探している事を知り、昔の遊びを通して交流を深めたいという願いを持つ。 ◆一年生に遊びのコツと楽しさを伝えたい。	【課題の設定】 ◆昔の遊びをつかってみんなを笑顔にしたい。全校に昔の遊びを広めたい。 小学生を対象に昔の遊び集会を開こう。	【課題の設定】 ◆昔の遊びパフォーマンスになってパフォーマンスショーをしよう。
情報収集	インターネットや本から昔の遊びについて情報を収集する。 けん玉 竹馬 おはじき お手玉 コマ回し 凧揚げ めんこ	インターネットや本などから、自分の選んだ昔の遊びで、さらに相手を引きつける技やそのコツについての情報を収集する。	協力してくれる人を探す。(GT) インターネットや本、身近な人からパフォーマンスで使えるような技を調べる。
整理分析	一年生に教えるのにどの種目に遊びを絞るか、またどんな形式で教えるのかを分析する。	上手くできるコツ、失敗する原因をまとめ、相手への教え方を分析する。	技のコツをまとめ、ショーのプログラムを整理する。
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・交流の準備をする。 ・交流をする。 【振り返り・知の更新】 ◆一年生に喜んでもらえてうれしかった。またやりたい、もっと上手になりたい。人を喜ばせたい。	【まとめ・表現】 昔の遊び集会を開く。 【振り返り・知の更新】 ◆いろんな人に広めることができた。もっといろんな人に広めることはできないかな。たくさんの人を喜ばせたい。	【まとめ・表現】 老人ホーム等でパフォーマンスショーをする。 【振り返り】 ◆みんなが協力したおかげでパフォーマンスショーが成功した。これからも団結することを大切にしていきたい。

【社会】昔の道具をさがしてみよう
昔の道具を調べる方法やまとめる方法について、メモに書いたり、発表したりしている。
(思考・判断・表現)

昔の道具を観察したり、体験したりして、それらを使っていたころのくらしの様子を具体的に調べ、ノートにまとめて理解している。
(知識・理解)

【社会】わたしたちのまちのようす
地形や土地の使われ方、主な公共施設の場所と働きなどに着目して観察し、気づいたことを白地図にまとめている。
(技能)

【国語】たからものをしょうかいしよう(話す・聞く)
関心のあることなどから話題を決め必要な事柄について調べ要点をメモしている【話す聞く ア】
相手を見たり言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話している。【話す聞く ウ】
表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている【伝国イ(オ)】

【国語】生き物事典で！？を全校のみんなに紹介しよう(読む)
カードの項目によって、文章の要点や細かい点に注意しながら読み要約している。【読む一エ】
生きもののびっくりを知らせるために、いろいろな本や文章を選んで読んでいます。【読むカ】

【国語】ふしぎ発見！大事典
～解説します あなたの？～
クイズにするために身の回りの？！を本や文章から見つけようとしている。【関】
身の回りの！？問いと答えの文の関係をとらえて、文章を読んでいる【読む一イ】
目的や必要に応じて、文章を引用したり要約したりする。【読む一エ】

【国語】～学級が楽しくなる係について話し合おう～
(学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること)
互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案等の役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。
【A-オ】
表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。【伝国イ(オ)】

3年2組

西大分駅イメージアップ&PRプロジェクト

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第3学年2組】

探究課題: 地域のもを守る人々の工夫や努力

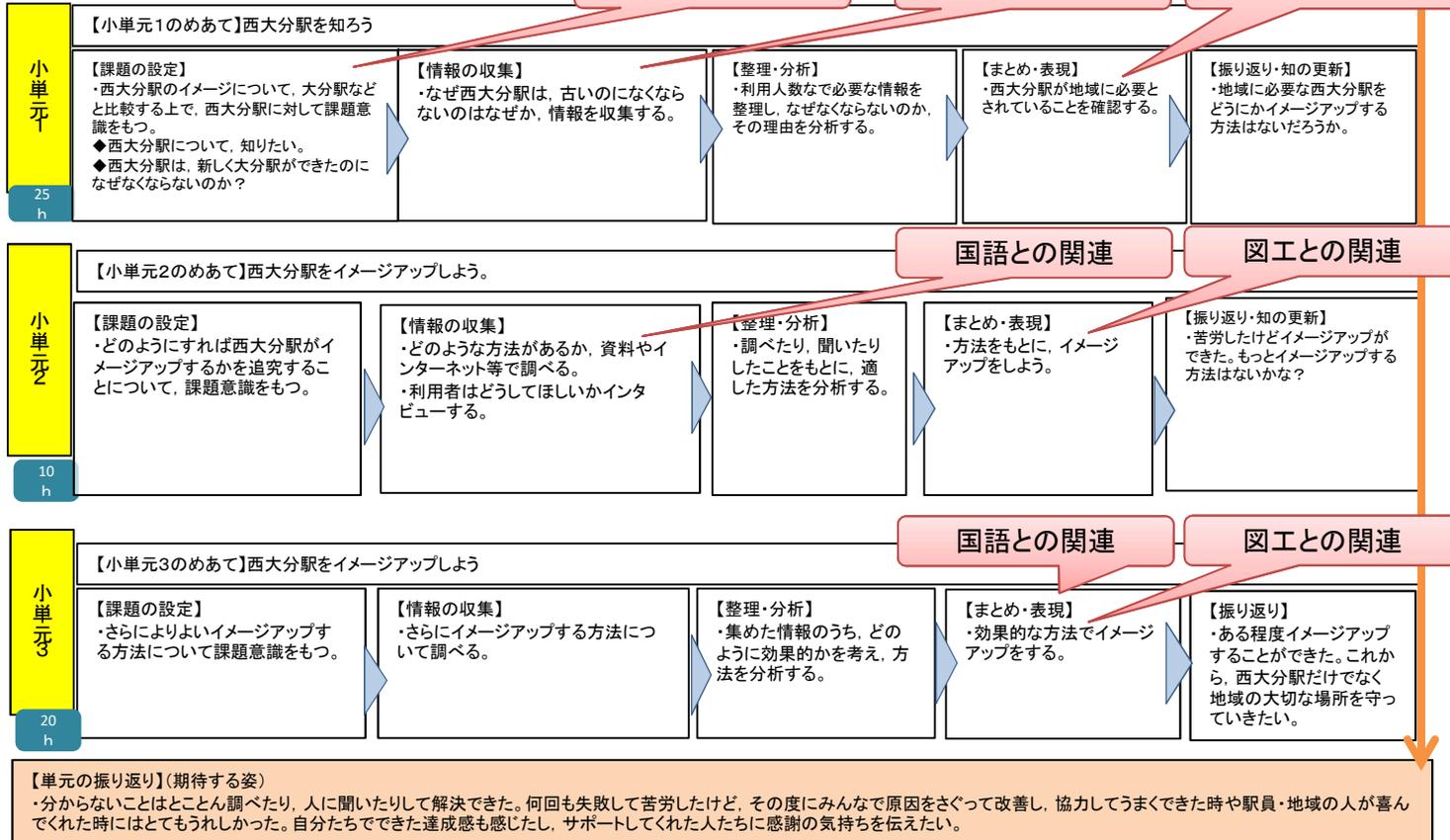
単元のねらい: 探求的な見方・考え方を働かせ、地域のもの(西大分駅)を守る人々や利用者の声を聞き、イメージアップする活動を通して、公共への意識を高めることができるようにする。

単元のめあて: 西大分駅イメージアップ&PRプロジェクト

社会科との関連

国語との関連

社会との関連



国語との関連

図工との関連

国語との関連

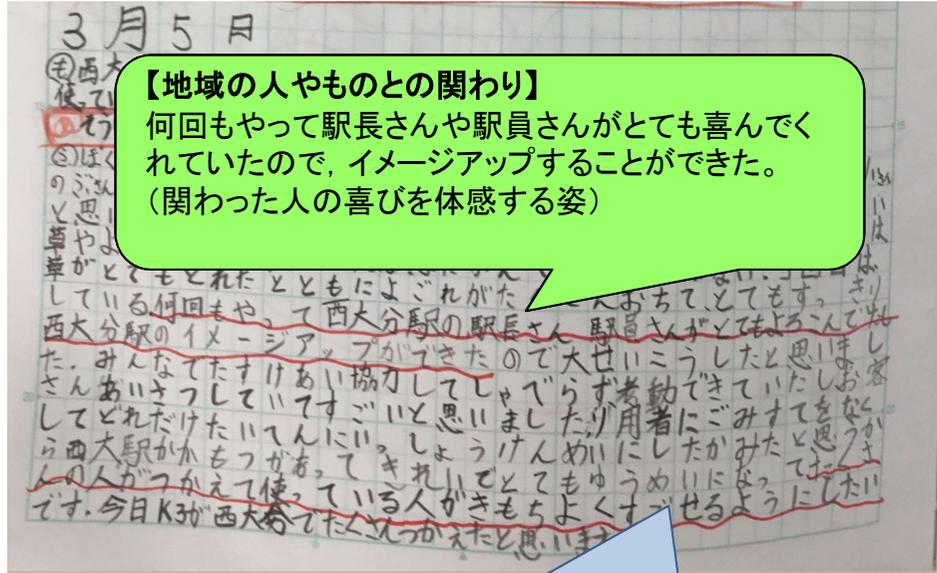
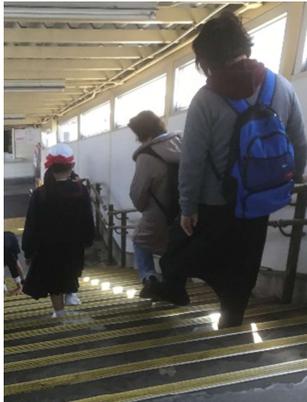
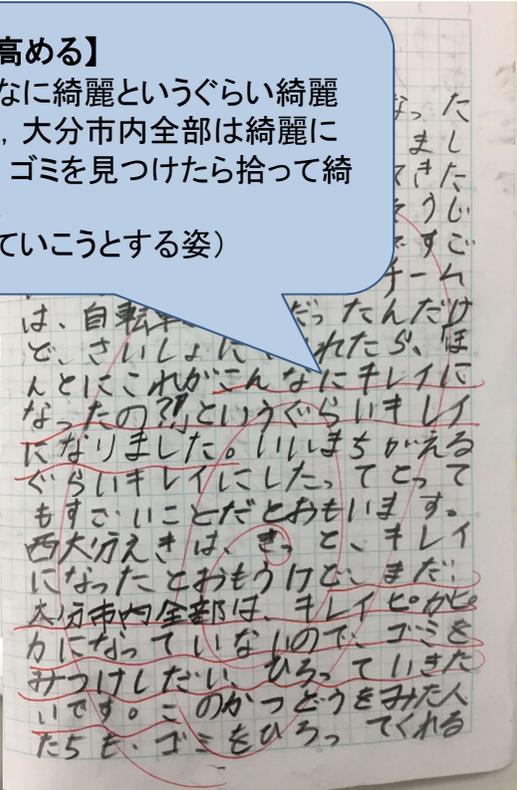
図工との関連

単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい： 探求的な見方・考え方を働かせ、地域のもの(西大分駅)を守る人々や利用者の声を聞き、イメージアップする活動を通して、公共への意識を高めることができるようにする。

【公共への意識を高める】

西大分駅は、こんなに綺麗というぐらい綺麗になりました。まだ、大分市内全部は綺麗になっていないので、ゴミを見つけたら拾って綺麗にしていきたい。
(清掃活動を広げていこうとする姿)

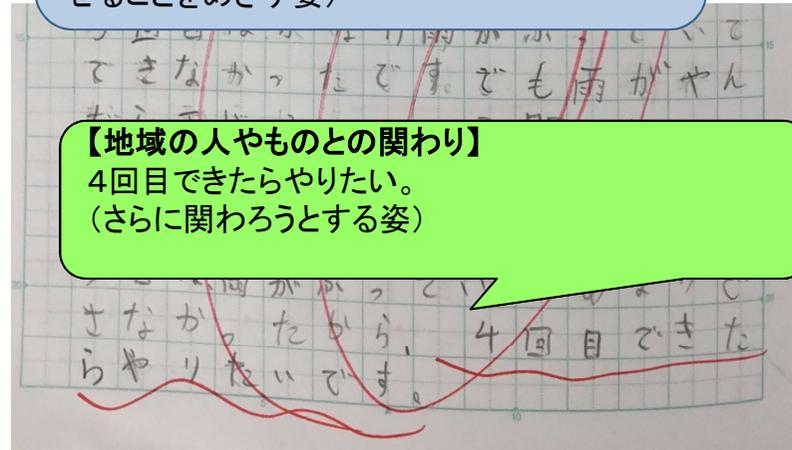


【地域の人やものとの関わり】

何回もやって駅長さんや駅員さんがとても喜んでくれていたので、イメージアップすることができた。
(関わった人の喜びを体感する姿)

【公共への意識を高める】

たくさんの方が使えて、使っている人が気持ちよく過ごせるようにしたい。
(どんな人でも使えて、誰でも気持ちよく過ごせることをめざす姿)



【地域の人やものとの関わり】

4回目できたらやりたい。
(さらに関わろうとする姿)

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 西大分駅イメージアップ&PRプロジェクト(小学校第3学年：70時間)

時期	5月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月	
探究の過程		西大分駅を知ろう (時間)	西大分駅をイメージアップしよう 【実践編】 (時間)	西大分駅をイメージアップしよう 【付加・PR編】 (時間)	【社会】 「お店で働く人びとの仕事」 ・おすすめする店のよさについて、「安い、新鮮、便利、サービス」などのキーワードを適切に用いて、ふりかえりシートにまとめる。 (社会的な思考・判断・表現)
課題設定		【課題の設定】 ・西大分駅のイメージについて、大分駅などと比較する上で、西大分駅に対して課題意識をもつ。 ◆西大分駅について、知りたい。 ◆西大分駅は、新しく大分駅ができたのになぜなくなるのか？	【課題の設定】 ・どのようにすれば西大分駅がイメージアップするかを追究することについて、課題意識をもつ。	【課題の設定】 ・さらによりよいイメージアップする方法について課題意識をもつ。	【社会】 「工場で働く人びとの仕事」 ・かまぼこ工場で細心の注意をはらって毎日繰り返される検査や商品開発、また、服装や施設などにおける取り組みから、かまぼこづくりへの思い、消費者のニーズに応え、よい製品をつくるための工夫や努力などについて考え、言葉で表現している。(社会的な思考・判断・表現)
情報収集		【情報の収集】 ・なぜ西大分駅は、古いのになくなるのにはなぜか、情報を収集する。	【情報の収集】 ・どのような方法があるか、資料やインターネット等で調べる。 ・利用者はどうしてほしいかインタビューする。	【情報の収集】 ・さらにイメージアップする方法について調べる。	【国語】 「～学級が楽しくなる係について話し合おう～ (学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること)」 ・互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案等の役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。【A-オ】
整理分析		【整理・分析】 ・利用人数などで必要な情報を整理しなぜなくなるのか、その理由を分析する。	【整理・分析】 ・調べたり、聞いたりしたことをもとに、適した方法を分析する。	【整理・分析】 ・集めた情報のうち、どのように効果的かを考え、方法を分析する。	【図工】 「色・形 いい感じ」 ・絵の具を混ぜたり重ねたり、いろいろ試しながら表し方を工夫している。(技)
まとめ表現 振り返り		【まとめ・表現】 ・西大分駅が地域に必要なとされていることを確認する。 【振り返り・知の更新】 ・地域に必要な西大分駅をどうにかイメージアップする方法はないだろうか。	【まとめ・表現】 ・方法をもとに、イメージアップしよう。 【振り返り・知の更新】 ・苦労したけどイメージアップができた。もっとイメージアップする方法はないかな？	【まとめ・表現】 ・効果的な方法でイメージアップする。 【振り返り】 ・ある程度イメージアップすることができた。これから、西大分駅だけでなく地域の大切な場所を守っていきたい。	「考えるための技法」の活用

【社会】
「わたしたちのまちのようす」
・まちに古くから残る遺跡や建造物などに着目して観察し、気づいたことを白地図にまとめている。
(観察・資料活用の技能)

【社会】
「わたしたちの市のようす」
・人がたくさん集まるところは、土地利用や交通との関わりが深いことを資料から読み取り、まとめている。
(観察・資料活用の技能)

【国語】
「聞き取りクイズをしよう」
・話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりする。【A-エ】

【国語】
「絵文字カタログをつくろう」
・自分が紹介したい絵文字について、書く上で必要な事柄を調べる【B-ア】

【図工】
「色・形 いい感じ」
・絵の具を混ぜたり重ねたり、いろいろ試しながら表し方を工夫している。(技)

3年3組

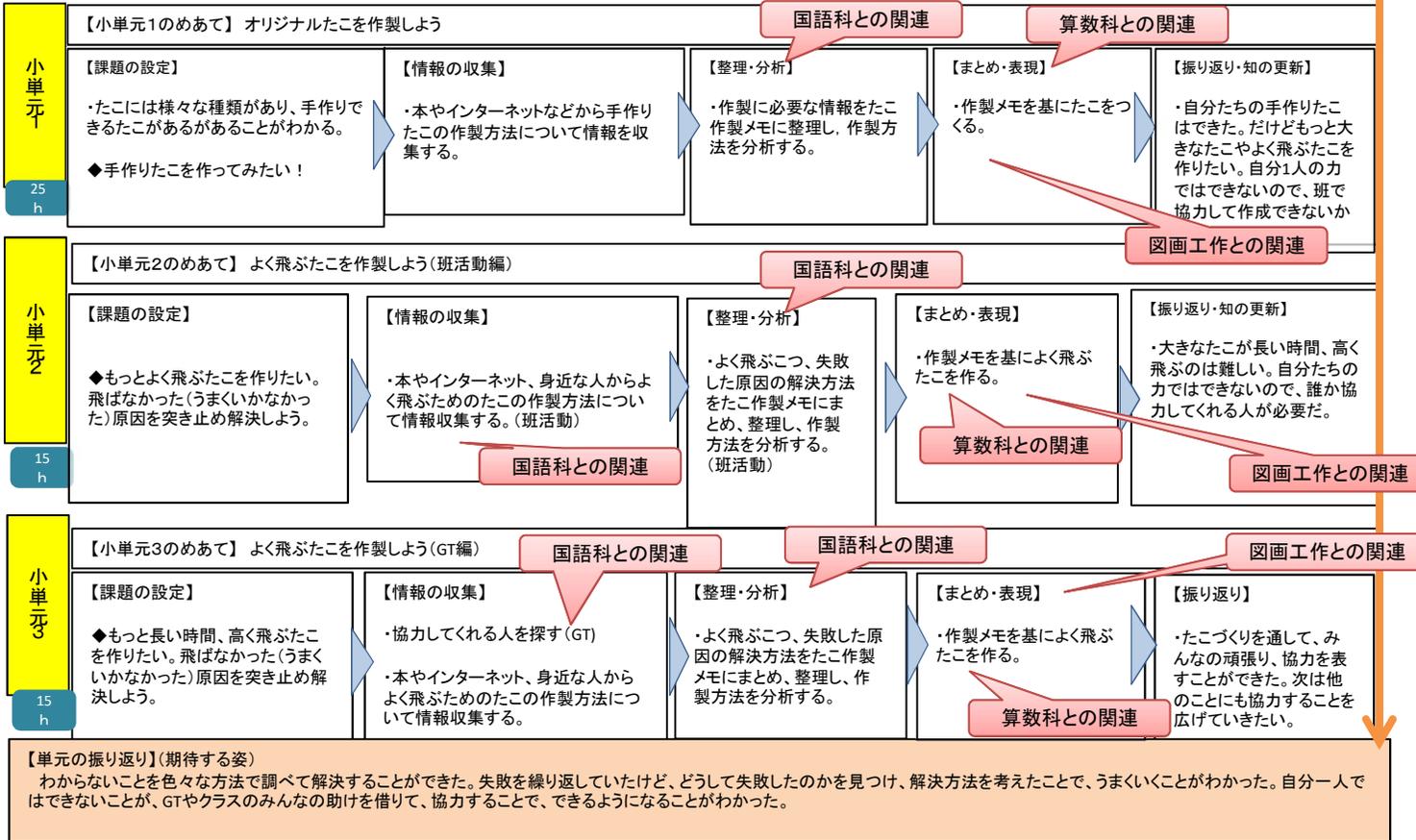
大空へてづくりたこを飛ばそうプロジェクト

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第3学年3組】

探究課題: ものづくりの面白さや工夫、ものづくりに携わる人々の技術や思い

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、作成に必要な情報を集めたり、情報を比較して考えたりして手作りたこを作製することを通して、ものづくりの楽しさや難しさを体感することができる。

単元のめあて: 大空へてづくりたこを飛ばそうプロジェクト



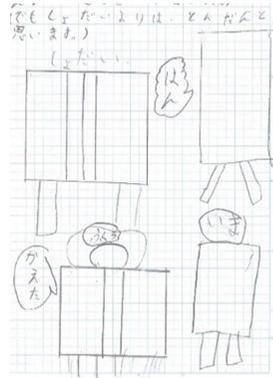
単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい:
い:

探究的な見方・考え方を働かせ、作成に必要な情報を集めたり、情報を比較して考えたりして手作りだこを作製することを通して、ものづくりの楽しさや難しさを体感することができる。

【ものづくりの楽しさや難しさ】

なか。た。です。た。こ。は。ネ。ッ。ト。の。写。真。と。文。章。の。作。り。方。よ。り。動。画。、。動。画。よ。り。人。間。に。教。え。て。も。ら。っ。た。方。が。作。り。や。す。い。事。が。分。か。り。ま。し。た。理。由。は。写。真。と。文。章。は。動。き。も。し。け。い。し。、。画。面。か。ら。と。び。出。て。教。え。て。く。れ。る。わ。け。で。も。な。い。か。ら。で。、。動。画。は。動。く。け。ど。、。自。分。の。ス。ピ。ー。ド。に。合。わ。せ。て。く。れ。ば。い。け。ど。、。人。間。は。、。自。分。の。ス。ピ。ー。ド。に。合。わ。せ。て。く。れ。る。し。、。い。っ。さ。い。に。教。え。て。く。れ。る。か。ら。で。す。ま。た。、。初。代。た。こ。よ。り。と。て。も。と。ん。だ。の。で。、。う。れ。し。が。っ。た。で。す。次。の。活。動。が。楽。し。み。で。す。



【ものづくりの楽しさや難しさ】

最初の形はイメージと違って全然飛ばなくて、次に自分たちで例えば気球のような形のアイデアを出したり、骨組みをかえたりして工夫しました。(※自分のイメージを形にする難しさ、試行錯誤する次々に試したいことが浮かび意欲的な姿)

【ものづくりの楽しさや難しさ】

一番楽しかったのは、たこを考えて作ることで、飛ばなくても作ることで自分が楽しかったです。(※試行錯誤を繰り返し、ものづくりの楽しさを感じている姿)



【人との関わり】

も。ふ。り。か。え。ア。ス。み。る。と。た。く。さ。ん。協。力。が。あ。り。ま。し。た。し。や。く。あ。り。が。た。く。さ。ん。や。り。ろ。う。い。ろ。い。ろ。の。こ。と。も。す。く。に。実。行。し。ま。し。て。こ。の。こ。つ。く。つ。み。て。も。と。は。な。か。、。た。け。ど。み。ん。な。あ。さ。か。め。ず。に。と。り。ぐ。あ。て。い。た。の。で。ま。ご。か。、。た。で。お。そ。し。て。ま。く。し。ん。だ。英。二。山。は。と。ん。だ。さ。つ。た。た。く。さ。ん。ア。イ。デ。ア。を。い。っ。て。り。て。た。こ。ち。や。め。う。も。で。す。た。し。毎。ご。あ。や。か。ま。く。と。ぶ。ね。と。か。い。ろ。う。人。な。こ。も。で。て。り。た。し。い。り。ま。あ。や。ち。か。う。も。つ。く。れ。て。り。た。の。で。お。れ。を。ど。ん。ど。ん。ま。ね。を。し。て。り。て。と。ぶ。と。思。い。ま。す。



【人との関わり】

わからないところは、先生や友だちが教えてくれたので、感謝しています。



【学び方について】

たこが飛ばなかった時は、とても疑問に思っ、考えるのが楽しかったです。

【学び方について】

今までの失敗は、全て無駄ではない。この全てが勉強ということがわかった。

【学び方について】

努力を積み重ねてここまでたどり着いたと思います。

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 大空にオリジナルたこを飛ばそうプロジェクト(小学校第3学年:55時間)

時期	9月～11月	11月～1月	1月～3月
探究の過程	オリジナルたこを作製しよう(25時間)	よく飛ぶたこを作製しよう(班活動編)(15時間)	よく飛ぶたこを作製しよう(GT編)(15時間)
課題設定	<p>【課題の設定】</p> <p>・たこには様々な種類があり、手作りができるたこがあることがわかる。</p> <p>◆手作りのたこを作ってみよう!</p>	<p>【課題の設定】</p> <p>◆もっとよく飛ぶたこを作りたい。飛ばなかった(うまくいかなかった)原因を突き止め解決しよう。</p>	<p>【課題の設定】</p> <p>◆もっと長い時間、高く飛ぶたこを作りたい。飛ばなかった(うまくいかなかった)原因を突き止め解決しよう。</p>
情報収集	<p>【情報の収集】</p> <p>・本やインターネットなどから手作りのたこの作製方法について情報を収集する。</p>	<p>【情報の収集】</p> <p>・本やインターネット、身近な人からよく飛ぶためのたこの作製方法について情報収集する。(班活動)</p>	<p>【情報の収集】</p> <p>・協してくる人を探す(GT)</p> <p>・本やインターネット、身近な人からよく飛ぶためのたこの作製方法について情報収集する。</p>
整理分析	<p>【整理・分析】</p> <p>・作製に必要な情報をたこ作製メモに整理し、作製方法を分析する。</p>	<p>【整理・分析】</p> <p>・作製に必要な情報をたこ作製メモに整理し、作製方法を分析する。</p>	<p>【整理・分析】</p> <p>よく飛ぶこつ、失敗した原因の解決方法をたこ作製メモにまとめ、整理し、作製方法を分析する。</p>
まとめ表現振り返り	<p>【まとめ・表現】</p> <p>・作製メモを基にたこをつくる</p> <p>【振り返り・知の更新】</p> <p>・自分たちの手作りのたこはできた。だけどもっと大きなたこやよく飛ぶたこを作りたい。自分1人の力ではできないので、班で協力して作成できないかな</p>	<p>【まとめ・表現】</p> <p>・作製メモを基によく飛ぶたこを作る</p> <p>【振り返り・知の更新】</p> <p>・大きなたこが長い時間、高く飛ぶのは難しい。自分たちの力ではできないので、誰か協力してくれる人が必要だ。</p>	<p>【まとめ・表現】</p> <p>・作製メモを長い時間、高く飛ぶたこを作る</p> <p>【振り返り】</p> <p>・たこづくりを通して、みんなの頑張り、協力を表すことができた。次は他のことにも協力することを伝えていきたい。</p>

【算数】2年「三角形と四角形」3年「三角形」

- 紙を折って直角、長方形、正方形、直角三角形をつくり、方眼などを用いて長方形、正方形、直角三角形を作図したりすることができる。(技)
- 定規やコンパスを用いて、二等辺三角形や正三角形を作図することができる。(技)

【国語】「学級が楽しくなる係について話し合おう」(話す・聞く)

- 互いの考えの共通点や相違点を考え、話し合うこと。(思・話聞オ)
- 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【国語】2年「きつつき おもちゃ大会をひらこう」(読む)

- たこの作り方を説明するために必要な言葉を書き抜いている(思・読工)

【国語】「手紙で社会見学をお願いしよう」(書く)

- 文章の間違えを正したり、よりよい表現に書き直している(思・書オ)

【図工】「サクサク小刀名人」

- 安全に小刀を使い、力加減や削る面積などを工夫している。(思・判・表)

「考えるための技法」の活用

4年1組

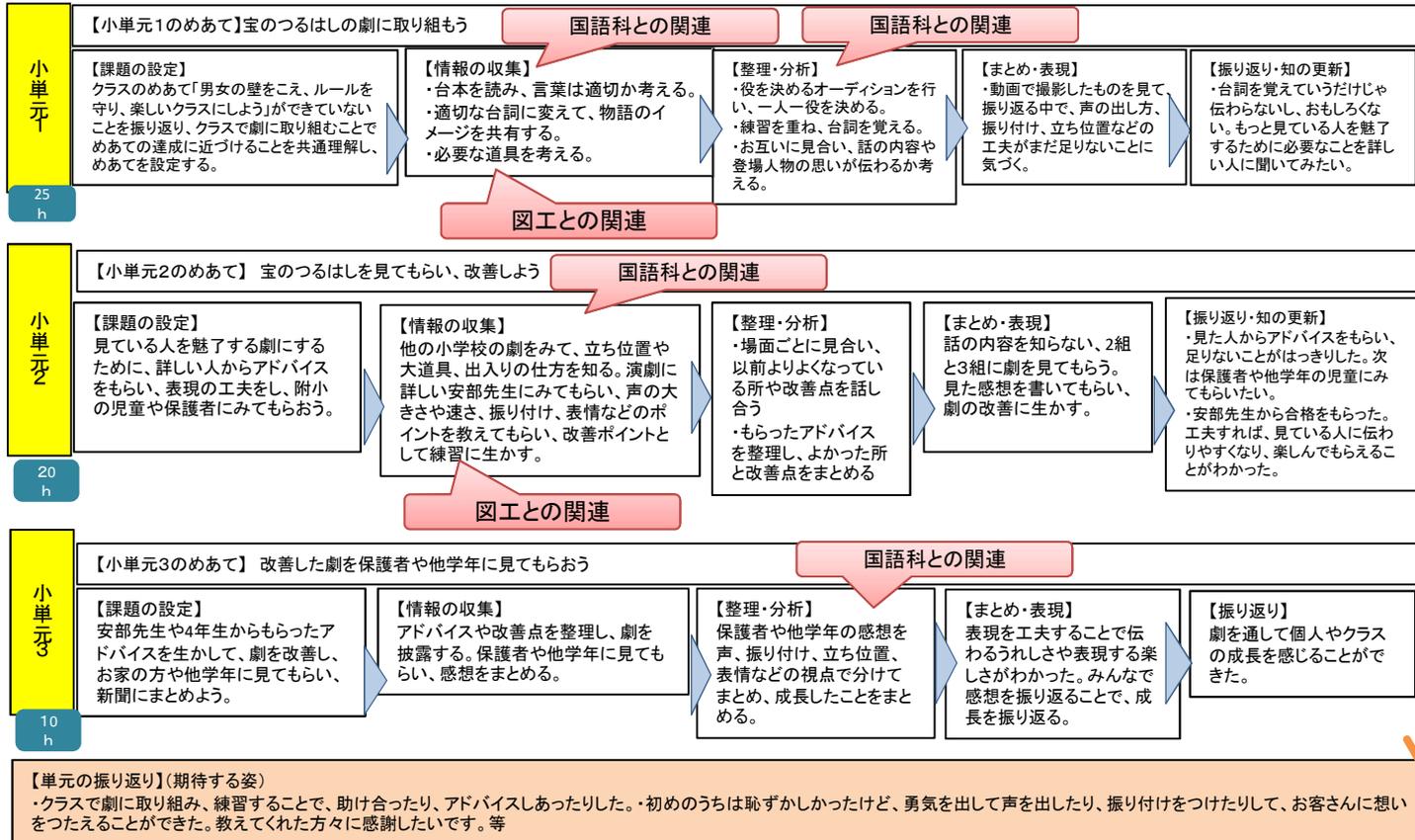
クラスで協力して、見ている人が楽しめる劇をつくろう

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第4学年1組】

探究課題: 劇を通して、豊かな表現について学び、想いを伝えるよさを味わう

単元のねらい: 探求的な見方・考え方を働かせ劇中の表現の工夫を考える活動を通して、想いが伝わる良さを味わうことができるようにする。

単元のめあて: クラスで協力して、見ている人が楽しめる劇をつくらう



単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探求的な見方・考え方を働かせ、劇中の表現の工夫を考える活動を通して、想いが伝わる良さを味わうことができるようにする。

【想いが伝わるよさ】

ゲストティーチャーから60点と言われてくやしかったです。でもアドバイスを
もとに練習したり工夫したりして、次に80点と言われたことがうれしかったです。
(他者からの見方を受け止め、表現の工夫をした姿)



9/13(水)
⑨ 水

組分け(水) 振り返り

あの時、1年生が笑顔でみてくれた。2年生が地底の国の背景をみて、笑ってくれて、「すごい」と言ってくれている気がして達成感があつた。

【想いが伝わるよさ】

できるか不安だったけど、見ている人が笑ってくれたり、しんけんに見てくれたりした。
友だちからも「がんばって」「すごかったよ」などのはげましましやアドバイスをもらい、自信をもってできるようになった。
(アドバイスを生かして表現の工夫を繰り返した達成感)

【想いが伝わるよさ】

1年生が笑顔でみてくれた。2年生が地底の国の背景をみて、笑ってくれて、「すごい」と言ってくれている気がして達成感があつた。

あの時、1年生が笑顔でみてくれた。2年生が地底の国の背景をみて、笑ってくれて、「すごい」と言ってくれている気がして達成感があつた。

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： クラスで協力して、見ている人が楽しめる劇をつくろう(小学校第4学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～12月	1月～3月
探究の過程	宝のつるはしの劇に取り組もう(25時間)	宝のつるはしを見てもらい、改善しよう(25時間)	改善した劇を保護者や他学年に見てもらおう(20時間)
課題設定	【課題の設定】 クラスのめあて「男女の壁をこえ、ルールを守り、楽しいクラスにしよう」ができていないことを振り返り、クラスで劇に取り組むことでめあての達成に近づけることを共通理解し、めあてを設定する。	【課題の設定】 見ている人を魅了する劇にするために、詳しい人からアドバイスをもらい、表現の工夫をし、附小の児童や保護者にみてもらおう。	【課題の設定】 安部先生や4年生からもらったアドバイスを生かして、劇を改善し、お家の方や他学年に見てもらい、まとめよう。
情報収集	・台本を読み、言葉は適切か考える。 ・適切な台詞に変えて、物語のイメージを共有する。 ・必要な道具を考える。	他の小学校の劇をみて、立ち位置や大道具、出入りの仕方を知る。演劇に詳しい安部先生にみてもらい、声の大きさや速さ、振り付け、表情などのポイントを教えてもらい、改善ポイントとして練習に生かす。	アドバイスや改善点を整理し、劇を披露する。保護者や他学年に見てもらい、感想をまとめる。
整理分析	・役を決めるオーディションを行い、一人一役を決める。 ・練習を重ね、台詞を覚える。 ・お互いに見合い、話の内容や登場人物の思いが伝わるか考える	・場面ごとに見合い、以前よりよくなっている所や改善点を話し合う ・もらったアドバイスを整理し、よかった所と改善点をまとめる	保護者や他学年の感想を声、振り付け、立ち位置、表情などの視点で分けてまとめ、成長したことを実感する。
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・動画で撮影したのを見て、振り返る中で、声の出し方、振り付け、立ち位置などの工夫がまだ足りないことに気づく。 【振り返り・知の更新】 ・台詞を覚えていただけじゃ伝わらないし、おもしろくない。もっと見ている人を魅了するために必要なことを詳しい人に聞いてみたい。	【まとめ・表現】 話の内容を知らない、2組と3組に劇を見てもらう。見た感想を書いてもらい、劇の改善に生かす。 【振り返り・知の更新】 ・見た人からアドバイスをもらい、足りなことがはっきりした。次は保護者や他学年の児童にみてもらいたい。 ・安部先生から合格をもらった。工夫すれば、見ている人に伝わりやすくなり、楽しんでもらえることがわかった。	【まとめ・表現】 表現を工夫することで伝わるうれしさや表現する楽しさがわかった。感想をまとめることで、自分たちの成長を振り返る。 【振り返り】 劇を通して個人やクラスの成長を感じることができた。

【図工】「ゆめのまちへようこそ」
・楽しい街になるように建物や橋などの組み合わせを考えながら、段ボールや色の使い方を工夫している。(技)

【国語】「ちびっこ寄席をひらこう」(読む)
・内容の中心や場面の様子がよくわかるように音読すること(読むア)
・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解している。(伝国イ)

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

「考えるための技法」の活用

【国語】「音読でイチオシの昔話を紹介しよう」(2年・既習)
・昔話や伝承などの本を読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること(伝国ア)

【図工】「森のげいじゅつ家」
・材料の形を生かして組み合わせ方や表し方を工夫している。(技)

4年2組

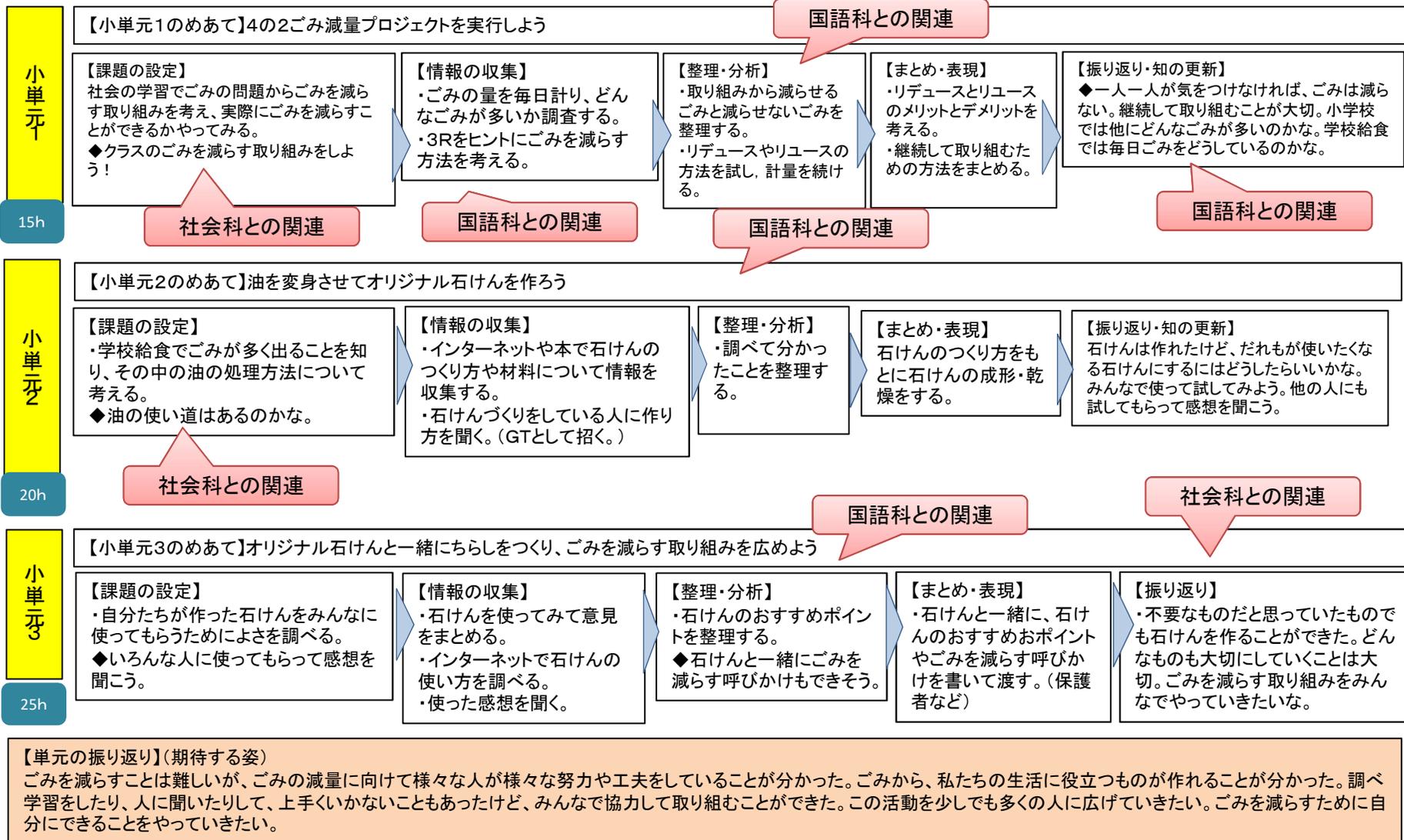
ごみダイエット大作戦！
～オリジナル石けんといっしょにごみを減らす取り
組みを広げよう～

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第4学年2組】

探究課題： 身近な環境問題からものづくりの面白さや工夫、生活の発展について考える

単元のねらい： 探究的な見方、考え方を働かせ、ごみの減量に向けて、再利用する活動を通して、限りある資源や身の回りの物を大切にしようすることができる。

単元のめあて： ごみダイエット大作戦！ ～オリジナル石けんといっしょにごみを減らす取り組みを広げよう～



単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方、考え方を働かせ、ごみの減量に向けて、再利用する活動を通して、限りある資源や身の回りの物を大切にしようとする事ができる。



【限りある資源や身の回りのものを大切にしようとする態度】

意識すればごみが減る。日常で使っているもので、鉛筆や消しゴム、紙など、長く使えるものがあるから、最後まで使うように意識していきたい。



【限りある資源や身の回りのものを大切にしようとする態度】

※再使用

ごみだと思っていたものが工夫すれば繰り返し使えた。折り紙やガムテープ等材料を使いすぎてごみが出てしまったので、使いすぎないことも大切なことが分かった。

【限りある資源や身の回りのものを大切にしようとする態度】

ずっと毎日わりばし、マスクを使い捨てていたが、ごみになってしまうので、マイはし、マイマスクで繰り返し使うことを心がけた。ごみを減らすことは自分たちにもできる。自分の家でも続けたい。

【限りある資源や身の回りのものを大切にしようとする態度】

最初は、自分が減らさなくても他の人が減らすからいいやと思っていた。でもなかなかごみが減らなかった。減らすことは大変なこと。みんなで協力してごみを減らすことが大切。ごみをすてる時は、本当につかえないか考えていきたい。

【限りある資源や身の回りのものを大切にしようとする態度】

※再利用
ごみになるとかと思っていたものも資源にかえ再利用することができることが分かった。すぐ捨てるのではなく、再利用できないか考えて、くり返し使ったり、分別したりしていきたい。



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名: ごみダイエット大作戦! ~オリジナル石けんといっしょにごみを減らす取り組みを広げよう~(小学校第4学年:70時間)

時期	5月~7月	9月~11月	12月~3月
探究の過程	4の2ごみ減量プロジェクトを実行しよう (25時間)	油を変身させて オリジナル石けんを作ろう (25時間)	オリジナル石けんとともにごみを減らす取り組みを広めよう (20時間)
課題設定	【体験活動】 ・社会の学習でごみの問題からごみを減らす取り組みを考え、実際にごみを減らすことができるかやってみる。 【課題の設定】 ◆クラスのごみを減らす取り組みをしよう! ◆ごみを減らすことはできるかな。	【課題の設定】 ・学校給食でごみが多く出ることを知り、その中の油の処理方法について考える。 ◆油の使い道はあるのかな?	【課題の設定】 ・自分たちが作った石けんをみんなに使ってもらうためによさを調べる。 ◆どんな石けんだったらみんなが使いたくなるのかな? ◆お家の人等に使ってもらって感想を聞こう。
情報収集	・ごみの量を毎日計り、どんなごみが多いか調査する。 ・本や社会で学習した3Rをヒントに自分たちでできそうなごみを減らす方法を考える。	・インターネットや本で油の使い道を調べ、自分たちにできそうな情報を収集する。 ・石けんづくりをしている人に作り方を聞く。	・インターネットで、油で作った石けんの使い道を調べる。 ・実際に使ってみて、使い心地をためす。 ・アンケート調査をまとめる。
整理分析	・考えた方法を試し、どの方法が有効か分析する。	・調べて分かったことを出し合い、自分たちにできる方法を整理する。	◆調べて分かった石けんのおすすめポイントを整理する。 ◆石けんと一緒にごみを減らす呼びかけもできそう。
まとめ 表現 振り返り	【まとめ・表現】 ・リデュースとリユースのメリットとデメリットを考える。 ・継続して取り組むための方法をまとめる。 【振り返り・知の更新】 ◆一人一人が気をつけなければ、ごみは減らない。継続して取り組むことが大切。小学校では他にどんなごみが多いのかな。学校給食では毎日ごみをどうしているのかな。	【まとめ・表現】 ・調べた方法をもとに、石けんの成形・乾燥をする。 【振り返り・知の更新】 ・石けんはできたけど、みんなに使ってもらいたくない。 ・使いたくなる石けんにするにはどうしたらいいかな。 ・どうやって取り組みを広めようかな。	【まとめ・表現】 ・みんなで作成し、お家の方等に渡す。 【振り返り・知の更新】 不要なものだと思っていたものでも、石けんを作ることができた。どんなものでも大切にすることが大事である。このままごみを減らす取り組みを続けていきたい。また、みんなにごみを減らす取り組みを広げていきたい。

【社会】「ごみのしまつと活用」(4年・既習)
・これまでの学習を振り返り、ごみの処理が、人々の生活の向上と環境を守るために必要なことや自分にできることを考え、表現している。(社会的な思考・判断・表現)

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)
・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること(思・書イ)

【国語】「命をつなぐレッドデータブックを作ろう」(読む)
・目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約すること(思・読ウ)

「考えるための技法」の活用

4年3組

植物大変身プロジェクト

～おうちの人に「ありがとうBOX」をプレゼントしよう～

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第4学年3組】

探究課題： ものづくりの面白さや工夫、自然の不思議さともものづくりに携わる人々の技術や思い

単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ、植物を栽培して製品にすることを通して、ものづくりの面白さや難しさを体感し、友だちや地域の方などと関わり合いながら人々の生活の工夫や発展に気付くことができるようにする。

単元のめあて： 植物大変身プロジェクト ～おうちの人に「ありがとうBOX」をプレゼントしよう～

小単元1 25h

【小単元1のめあて】へちま・ひょうたん・わたを育てよう【はたけ・栽培編】

国語科との関連

・3種類の謎の種を調べる事で植物には観賞したり食べたりする以外にも他のものに作り替えることができる。【課題の設定】
◆この種を蒔いて育てたい！
◆収穫したら、一生残るものに変身させたい！

【情報収集】
・本や身近な人への取材などからへちま・ひょうたん・わたの栽培方法(土・肥料・はたけ)などについて情報を収集する。

【整理・分析】
・栽培に必要な情報を植物園マップや植物メモに整理し、適した畑や栽培方法を分析する。

【まとめ・表現】
・植物園マップや植物メモをもとに、植物園(畑)を作る。

【振り返り・知の更新】
◆大きな畑を作るのには時間も力も必要。自分たちのできることはすべてやったけど、自分たちだけではできない。誰か協力してくれる人はいないかな？

理科との関連

小単元2 10h

【小単元2のめあて】へちま・ひょうたん・わたの実を収穫しよう【収穫編】

【課題の設定】
・自分たちの育てた植物の実を収穫しよう。
◆それぞれの実で収穫の方法は違うのかな？

【情報の収集】
・本や身近な人への取材で収穫の方法を調べる。
・はたけ作りの経験を活かし、保護者や大学職員をGTとして招き、作り方を聞く。

【整理・分析】
・調べて分かったことを、植物メモに整理する。

【まとめ・表現】
・植物メモをもとに3種類の植物を収穫する。

【振り返り・知の更新】
・無事に収穫出来てよかった。今までは、3種類とも同じ方法で栽培できたけど、これから変身させていくときにも同じ方法でできるのかな？

理科との関連

小単元3 30h

【小単元3のめあて】収穫した実を変身させよう【ものづくり編】

国語科との関連 **図工との関連** **図工との関連**

【課題の設定】
◆それぞれの実でどんなものが作れるのかな？

【情報の収集】
・本や身近な人への取材でどんなものが作れるのか調べる。
・実際に作ったことのある人へのインタビューなどを通して、作り方を調べる。

【整理・分析】
・へちま→たわし
・ひょうたん→楽器
・わた→コースター
それぞれの作り方を整理する。

【まとめ・表現】
・調べたことをもとに、ものづくりをする。

【振り返り・知の更新】
・苦労したけど収穫した実を使って記念に残る品物ができた。お家の人たちにプレゼントしたいな。

小単元4 5h

【小単元4のめあて】世界でたった一つの「ありがとうBOX」プレゼント会を開こう。

国語科との関連 **国語科との関連**

【課題の設定】
・自分たちが作った「ありがとうBOX」プレゼント会を開く。
◆どんな会がいいかな？
◆どうすれば思い出に残るプレゼント会になるかな？

【情報の収集】
・どんな会にすると喜ばれるか調査する。

【整理・分析】
◆このプレゼントができるまでの苦労を知らせると感動してくれるかも。

【まとめ・表現】
・みんなで練習して二分の一人式で発表する。

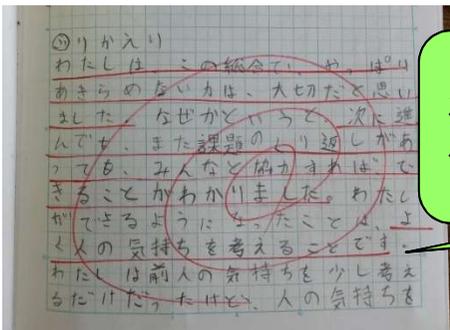
【振り返り・知の更新】
・二分の一人式での発表で、自分たちが頑張ってきたことを紹介することができた。次は、家族外の人たちの役に立てることを考えていきたいな。

国語科との関連

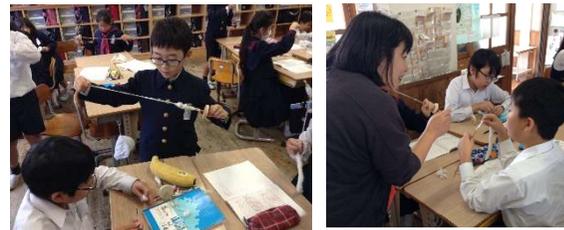
【単元の振り返り】(期待する姿)
・分からないことはとことん調べたりいろんな人に聞いたりして解決してきた。何回も失敗して苦労したけど、そのたびにみんなで原因をさぐって改善し、協力してうまくできた時や、物が完成した時、家の人が喜んでくれた時にはとてもうれしかった。自分たちでできたという達成感があった。助けてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えたい。 など

単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

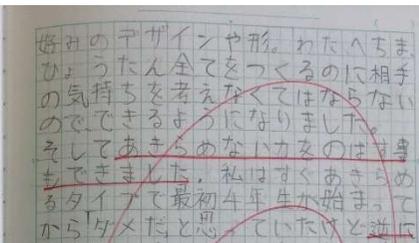
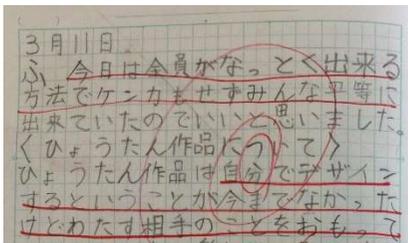
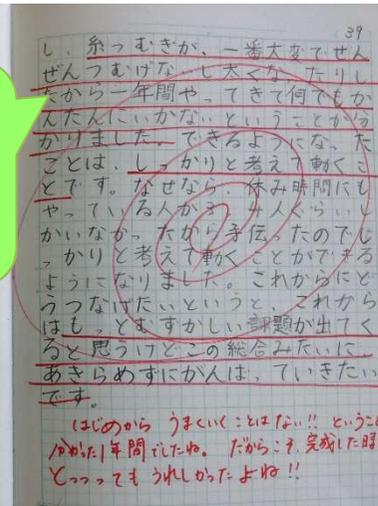
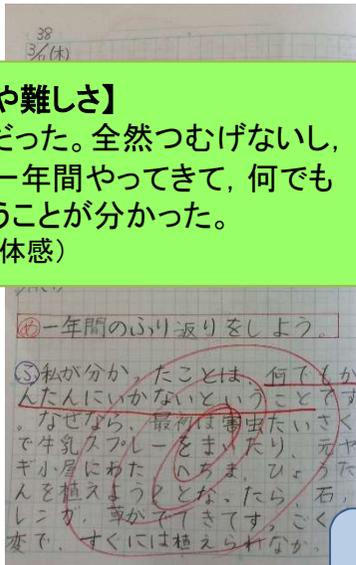
単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、植物を栽培して製品にすることを通して、ものづくりの面白さや難しさを体感し、友だちや地域の方などに関わり合いながら人々の生活の工夫や発展に気付くことができるようにする。



【ものづくりの面白さや難しさ】
 次に進んでもまた課題...の繰り返しがあったけど、みんなで協力すればできることが分かりました。
 (※試行錯誤を繰り返し、ものづくりの本質に迫る姿)

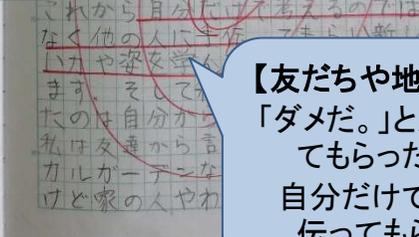
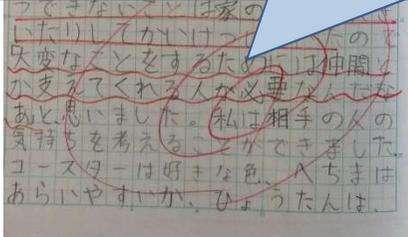


【ものづくりの面白さや難しさ】
 糸つむぎが1番大変だった。全然つむげないし、太くなったりしたから一年間やってきて、何でも簡単にいかないということが分かった。
 (※ものづくりの難しさを体感)

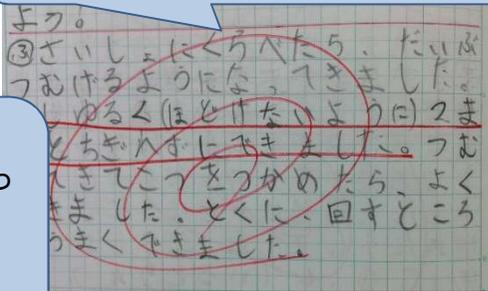


【友だちとの関わり合い】
 大変なことをするためには仲間とか支えてくれる人が必要だと思った。

【人々の生活の工夫や発展】
 最初に比べたら大分つむげるようになった。こつをつかめたらよくできるようになった。
 (※先人の大変さや工夫に気付きはじめた姿)



【友だちや地域の方などとの関わり合い】
 「ダメだ。」と思っていたけど、他の人に手伝ってもらったりするとあきらめずにできた。自分だけで考えるのではなく、他の人に手伝ってもらい、新しいことを学んできた。



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 植物大変身プロジェクト ～おうちの人に「ありがとうBOX」をプレゼントしよう～（小学校第4学年：70時間）

時期	5月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	へちま・ひょうたん・わたを育てよう 【はたけ・栽培編】 (25時間)	へちま・ひょうたん・わたの実を収穫しよう 【収穫編】 (10時間)	収穫した実を変身させよう 【ものづくり編】 (30時間)	世界でたった一つの「ありがとうBOXプレゼント会」をひらこう (5時間)
課題設定	・3種類の謎の種を調べる事で植物には観賞したり食べたりする以外にも他のものに作り替えることができるのが分かる。 【課題の設定】 ◆この種を蒔いて育てたい！ ◆収穫したら、一生残るものに変身させたい！	【課題の設定】 ・自分たちの育てた植物の実を収穫しよう。 ◆それぞれの実で収穫の方法は違うのかな？	【課題の設定】 ◆それぞれの実でどんなものが作れるのかな？	【課題の設定】 ・自分たちが作った「ありがとうBOX」プレゼント会を開く。 ◆どんな会がいいかな？ ◆どうすれば思い出に残るプレゼント会になるかな？
情報収集	・本や身近な人への取材などからへちま・ひょうたん・わたの栽培方法(土・肥料・はたけ)などについて情報を収集する。	・本や身近な人への取材で収穫の方法を調べる。 ・はたけ作りの経験を活かし、保護者や大学職員をGTとして招き、作り方を聞く。	・本や身近な人への取材でどんなものが作れるのか調べる。 ・実際に作ったことのある人へのインタビューなどを通して、作り方を調べる。	・どんな会にすると喜ばれるか調査する。
整理分析	・栽培に必要な情報を植物園マップや植物メモに整理し、適した畑や栽培方法を分析する。	・調べて分かったことを、植物メモに整理する。	・へちま→たわし ・ひょうたん→楽器 ・わた→コースター それぞれの作り方を整理する。 ◆わたしはコースターにする前に糸紡ぎをしないとイケない！ ◆紡いだ糸に色をつけたいな。	◆このプレゼントができるまでの苦勞を知らせると感動してくれるかも。
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・植物園マップや植物メモをもとに、植物園(畑)を作る。 【振り返り・知の更新】 ◆大きな畑を作るのには時間も力も必要。自分たちでできることはすべてやったけど、自分たちだけではできない。誰か協力してくれる人はいないかな？	【まとめ・表現】 ・植物メモをもとに3種類の植物を収穫する。 【振り返り・知の更新】 ◆無事に収穫出来てよかった。今までは、3種類とも同じ方法で栽培できたけど、これから変身させていくときにも同じ方法でできるのかな？	【まとめ・表現】 ・調べたことをもとに、ものづくりをする。 【振り返り・知の更新】 ・苦勞したけど収穫した実を使って記念に残る品物ができた。お家の人たちにプレゼントしたいな。	【まとめ・表現】 ・みんなで練習して二分の一成式で発表する。 【振り返り・知の更新】 ・二分の一成式での発表で、自分たちが頑張ってきたことを紹介することができた。次は、家族外の人たちの役に立てることを考えていきたいな。

【理科】「身近な植物の様子」
・植物の生長について興味・関心を持って追及する活動を通して、植物の成長を季節と関係づける能力を育てるとともに、それらについて理解を図り、植物の成長と環境との関わりについて見方や考え方をもちつことができるようにする。(関・意・態)(思・表)

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【国語】「4年3組レッドデータブックを作ろう」(読む)
・目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約すること(思・読む)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)
・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること(思・書イ)

【図工】「色・形・いい感じ」(3年既習)
・自分の色で試し表しながら、思いに合う表し方を工夫する。(技)

「考えるための技法」の活用

4年3組

(平成29年度)

世界でたった一つの 土笛プロジェクト

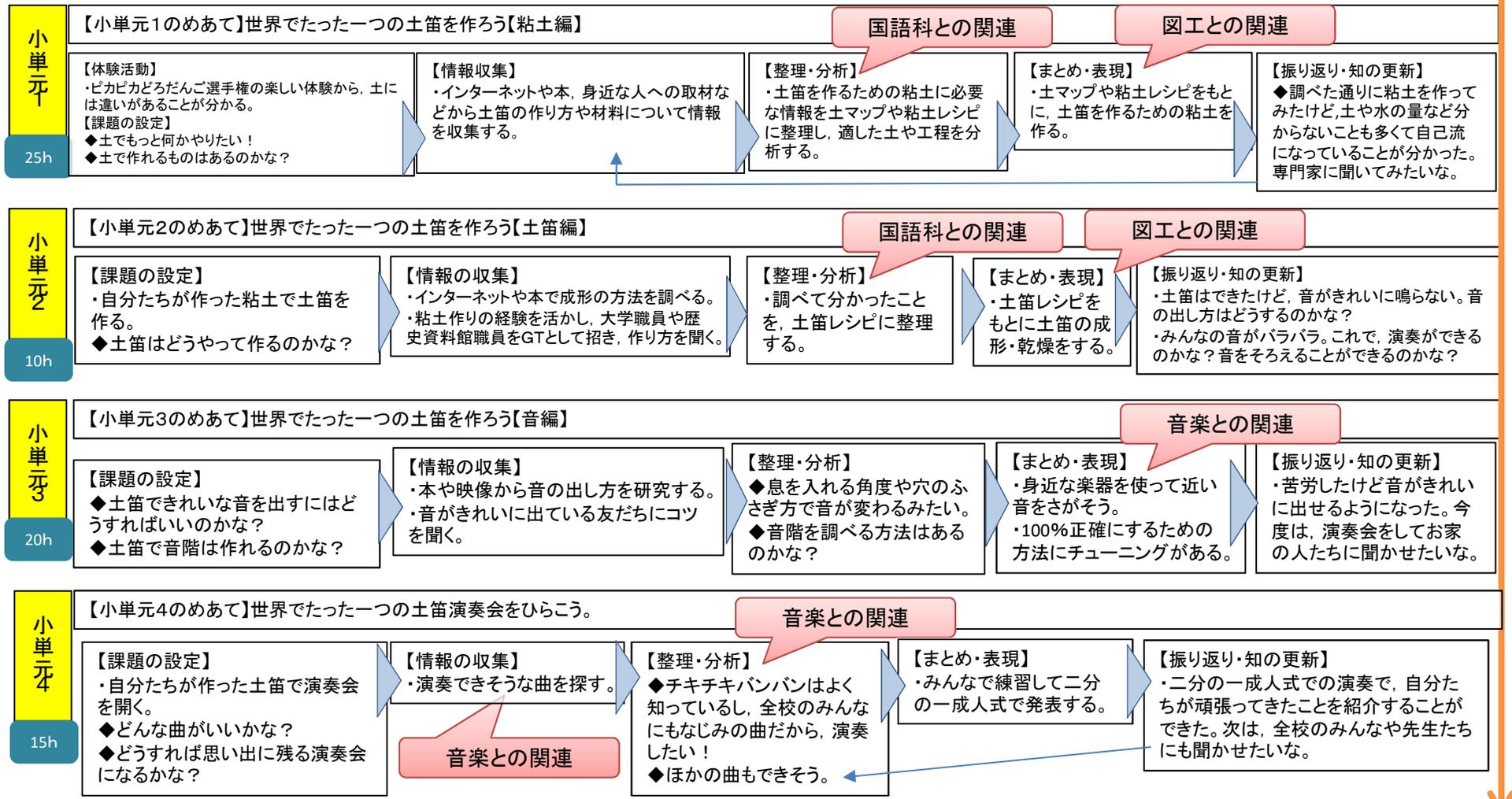
～運動場の土から世界でたった一つの土笛を作ろう～

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第4学年3組】

探究課題： ものづくりの面白さや工夫、自然の不思議さともものづくりに携わる人々の技術や思い

単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ、土笛を作ったり、演奏したりする活動を通して、ものづくりの面白さや難しさを体感し、友だちや地域の方などと関わ合いながら互いの良さを生かすことができるようにする。

単元のめあて： 世界でたった一つの土笛プロジェクト ～運動場の土から世界でたった一つの土笛を作ろう～



【単元の振り返り】(期待する姿)

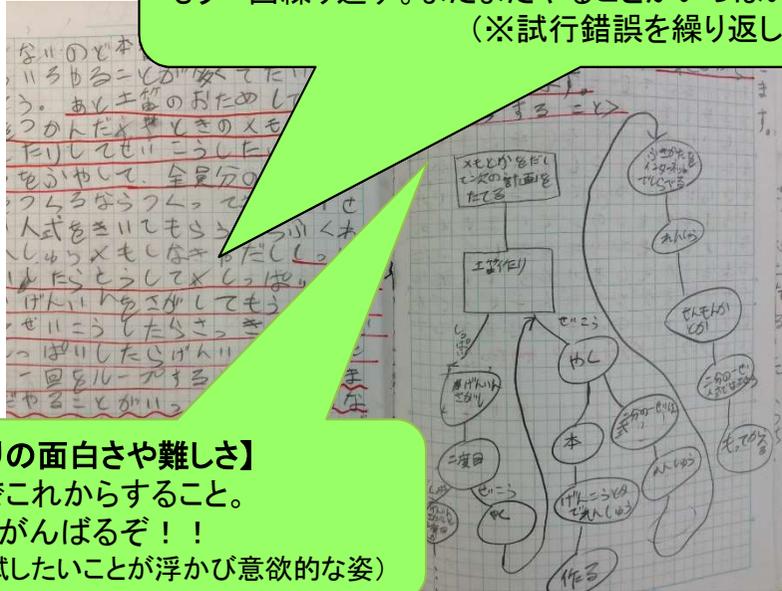
・分からないことはとことん調べたりいろんな人に聞いたりして解決してきた。何回も失敗して苦労したけど、そのたびにみんなで原因をさぐって改善し、協力してうまくできた時や、演奏会でたくさんの人たちに聞いてもらったときにはとてもうれしかった。自分たちでできたという達成感があった。助けてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えたい。 など

単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、土笛を作ったり、演奏したりする活動を通して、ものづくりの面白さや難しさを体感し、友だちや地域の方などと関わ合いながら互いの良さを生かすことができるようにする。

【ものづくりの面白さや難しさ】

失敗したら検討して失敗した原因をさぐりもう一回作る。それでも失敗したら、もう一回繰り返す。まだまだやるのがいっぱいありそうな予感
(※試行錯誤を繰り返す、ものづくりの本質に迫る姿)



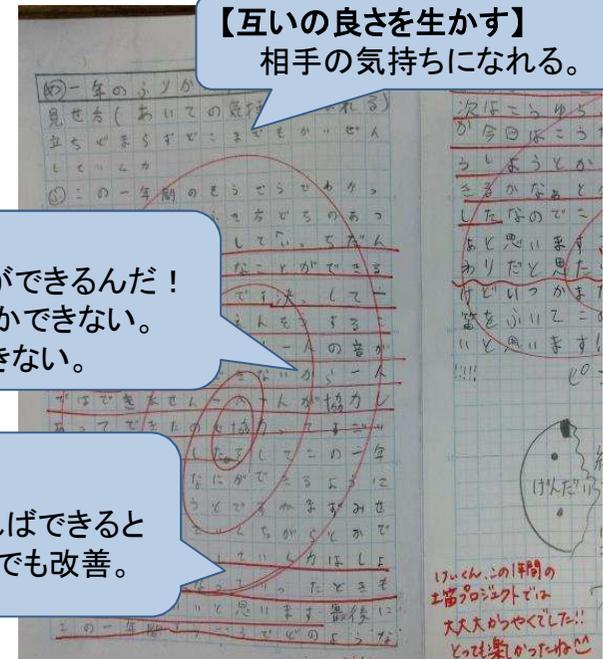
【ものづくりの面白さや難しさ】

土笛作りでこれからすること。
これからもがんばるぞ!!
(※次々に試したいことが浮かび意欲的な姿)



【互いの良さを生かす】

相手の気持ちになれる。



【互いの良さを生かす】

みんなで協力するとこんなことができるんだ!
一人ひとりの音が重なってしかできない。
これは自分一人ではできない。



【ものづくりの面白さや難しさ】

失敗は原因を探って、改善すればできると分かった。立ち止まらずどこまでも改善。

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 世界でたった一つの土笛プロジェクト(小学校第4学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	世界でたった一つの土笛をつくろう 【粘土編】 (25時間)	世界でたった一つの土笛をつくろう 【土笛編】 (10時間)	世界でたった一つの土笛をつくろう 【音編】 (20時間)	世界でたった一つの土笛演奏会をひらこう (15時間)
課題設定	【体験活動】 ・ピカピカどろだんご選手権の楽しい体験から、土には違いがあることが分かる。 【課題の設定】 ◆土でもっと何かやりたい！ ◆土で作れるものはあるのかな？	【課題の設定】 ・自分たちが作った粘土で土笛を作る。 ◆土笛はどうやって作るのかな？	【課題の設定】 ◆土笛できれいな音を出すにはどうすればいいのかな？ ◆土笛で音階は作れるのかな？	【課題の設定】 ・自分たちが作った土笛で演奏会を開く。 ◆どんな曲がいいかな？ ◆どうすれば思い出に残る演奏会になるかな？
情報収集	・インターネットや本、身近な人への取材などから土笛の作り方や材料について情報を収集する。	・インターネットや本で成形の方法を調べる。 ・粘土作りの経験を活かし、大学職員や歴史資料館職員をGTとして招き、作り方を聞く。	・本や映像から音の出し方を研究する。 ・音がきれいで出ている友だちにコツを聞く。	・演奏できそうな曲を探す。
整理分析	・土笛を作るための粘土に必要な情報を土マップや粘土レシピに整理し、適した土や工程を分析する。	・調べて分かったことを、土笛レシピに整理する。	◆息を入れる角度や穴のふさぎ方で音が変わるみたい。 ◆音階を調べる方法はあるのかな？	◆チキチキバンバンはよく知っている！全校のみんなにもなじみの曲だから、演奏したい！ ◆ほかの曲もできそう。
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・土マップや粘土レシピをもとに、土笛を作るための粘土を作る 【振り返り・知の更新】 ◆調べた通りに粘土を作ってみたけど、土や水の量など分からないことも多くて自己流になっていることが分かった。専門家に聞いてみたいな。	【まとめ・表現】 ・土笛レシピをもとに土笛の成形・乾燥をする。 【振り返り・知の更新】 ・土笛はできたけど、音がきれいに鳴らない。音の出し方はどうするのかな？ ・みんなの音がバラバラ。これで、演奏ができるのかな？音をそろえることができるのかな？	【まとめ・表現】 ・身近な楽器を使って近い音をさがそう。 ・100%正確にするための方法にチューニングがある。 【振り返り・知の更新】 ・苦労したけど音がきれいに出来るようになった。今度は、演奏会をしてお家の人たちに聞かせたいな。	【まとめ・表現】 ・みんなで練習して二分の一成人式で発表する。 【振り返り・知の更新】 ・二分の一成人式での演奏で、自分たちが頑張ってきたことを紹介することができた。次は、全校のみんなや先生たちにも聞かせたいな。

【図工】「すなや土となかよし」(1年・既習)
・身近な自然物の形や色などを基に造形的な活動を思いついたり、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考える。(思・判・表)

【図工】「立ち上がれ粘土」
・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かることにも、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。(知・技)

・材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ったり、つないだり、形を変えたりするなどして、工夫して作ること(技)

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)
・相手に伝えるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【国語】「命をつなぐレッドデータブックを作ろう」(読む)
・目的を意識して、中心となる語や分を見つけて要約すること(思・読ウ)

【国語】「学級新聞を作ろう」(書く)
・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること(思・書イ)

【音楽】「拍の流れにのってリズムを感じ取ろう」(3年・既習)
・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について理解すること。(共通事項・知)



「考えるための技法」の活用

5年1組

土を使って、自然に関わる焼き物を制作し、
それを使って大分のよさをアピールしよう！

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第5学年1組】

探究課題:	ものづくりの面白さや工夫、自然の不思議さやものづくり、観光に携わる人々の技術や思い
単元のねらい:	探求的な見方・考え方を働かせ、焼き物の制作や発信の際に必要な情報を集めたり、情報を比較して考えたりして、焼き物を作って配布したりする活動を通して、ものづくりの楽しさや地域の自然のよさへの気づきを高めることができるようにする。
単元のめあて:	土を使って、自然に関わる焼き物を制作し、それを使って大分のよさをアピールしよう！

小単元1 10h	【小単元1のめあて】 5年1組の総合のテーマと方向性を決めよう	算数科との関連	国語科との関連
	<p>【課題の設定】 ・4年生で経験してきたことや学びを生かしながら取り組むことのできる学級総合のテーマを考える。</p> <p>【情報の収集】 ・大分の自然をPRできる焼き物にするためには、どのようなデザインにすれば良いか、情報を集めながら考える。</p> <p>【整理・分析】 ・全員で評価シートを使って試作品を見合い、学級総合の方向性をしぼっていくために各項目の平均値を求める。</p> <p>【まとめ・表現】 ・評価シートで集計した平均値を参考に方向性を決定し、改めてデザインを確認する。</p> <p>【振り返り・知の更新】 ◆学級が進むべきテーマと方向性が決まった。いよいよ大分をPRするための焼き物作りを開始していくけど、焼き物ってどうなのかな？</p>		
小単元2 15h	【小単元2のめあて】 焼き物について調べ、試作品を焼いてみよう	図工との関連	
	<p>【課題の設定】 ・決定した大分をPRするための試作品を、よりしっかりとした物にするための焼き物について、その方法について課題意識をもつ。</p> <p>【情報の収集】 ・土(粘土)の焼き方について、図書やインターネットで調べる。</p> <p>【整理・分析】 ・調べて分かったことをもとに、どのように焼けばよいのか、その方法について整理する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・調べたことをもとに、必要な道具を準備し、七輪を使って試作品を焼いてみる。</p> <p>【振り返り・知の更新】 ◆七輪を使って焼いてみたが、今ひとつ仕上がりがきれいなじゃないかな…。どうすればもっときれいな焼き物になるのかな？</p>		
小単元3 15h	【小単元3のめあて】 焼き物を美しく仕上げる方法について調べ、よりよく焼いてみよう	図工との関連	
	<p>【課題の設定】 ・どのように焼けば美しい焼き物になるかを追究することについて、課題意識をもつ。</p> <p>【情報の収集】 ・どのように焼けばよいのか、図書やインターネットで調べる。 ・ゲストティーチャーを招聘し、「釉薬」について知る。</p> <p>【整理・分析】 ・釉薬について調べたことをもとに、自分たちでできることについて、集めた情報を整理・分析する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・調べたことをもとに、必要な道具を準備し、七輪を使って試作品を焼いてみる。</p> <p>【振り返り・知の更新】 ◆「釉薬」をつけて焼いてみると、仕上がりがきれいになったぞ！でも、もっときれいにするには…？そして、どのようにして発信しよう…。</p>		
小単元4 15h	【小単元4のめあて】 一定の形にできた焼き物を、広く発信して大分をPRしよう	国語科との関連	社会科との関連
	<p>【課題の設定】 ・一定の形にできた焼き物を、どのようにして発信するか、また、さらによりよい焼き物にする方法についての課題意識をもつ。</p> <p>【情報の収集】 ・学級の目的を達成するための発信方法をどのようにすればよいか調べる。</p> <p>【整理・分析】 ・集めた情報のうち、どのように発信すれば効果的に目的を達成できるかを考え、整理する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・大分駅で作品を販売したり、ステージで演奏したりする。また、アンケートをもとに、これまでの活動をまとめる。</p> <p>【振り返り・知の更新】 ◆ある程度発信することができたけど、アンケートからまだ課題が見つかった。さらに課題を解決していきたいな。</p>		
小単元5 15h	【小単元5のめあて】 これまでの活動を生かして、焼き物をより効果的に、より広く発信しよう	国語科との関連	国語科との関連
	<p>【課題の設定】 ・焼き物を発信できたが、焼き物の質的にも発信方法にも課題が残ったことから、より良く、より広く発信できる方法について課題意識をもつ。</p> <p>【情報の収集】 ・より良い焼き物や、より広く発信できる方法について調べる。</p> <p>【整理・分析】 ・集めた情報のうち、どのように発信すればより効果的に目的を達成できるかを考え、整理する。</p> <p>【まとめ・表現】 ・大分駅等で作品を販売したり、ステージで演奏したりして、これまでの活動をまとめる。</p> <p>【振り返り・知の更新】 ◆いろいろな場所で作品を販売できたり、演奏会を開いたりして、大分のよさをアピールできた。また他の方法で大分の良さを発信していきたいな。</p>		
<p>【単元の振り返り】(期待する姿) ・分からないことはことごとく調べたり、人に聞いたりして解決できた。何回も失敗して苦労したけど、その度にみんなで原因を探って改善したり、協力したりして、うまくできたときは嬉しかった。自分たちでできた達成感も感じたし、助けてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えていきたい。</p>			

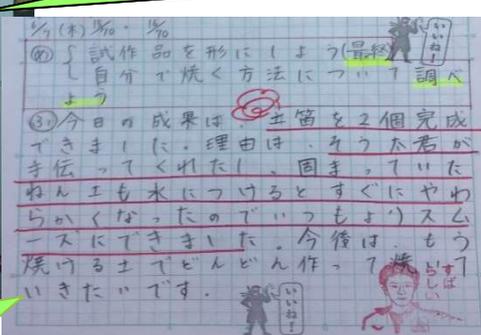
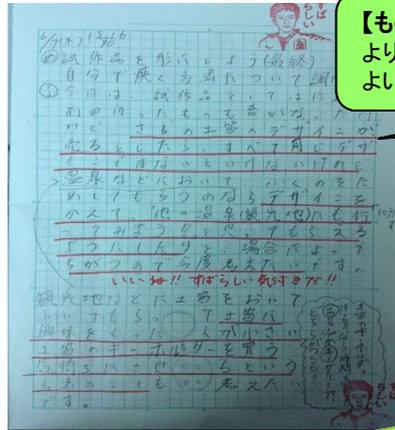
単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい:

探求的な見方・考え方を働かせ、焼き物を作って販売したり、演奏したりする活動を通して、ものづくりの楽しさを体感し、地域の自然のよさに気付くとともに、焼き物の制作や発信の際に必要な情報を集めたり、情報を比較して考えたりして、探求の過程に応じた技能を身に付ける。

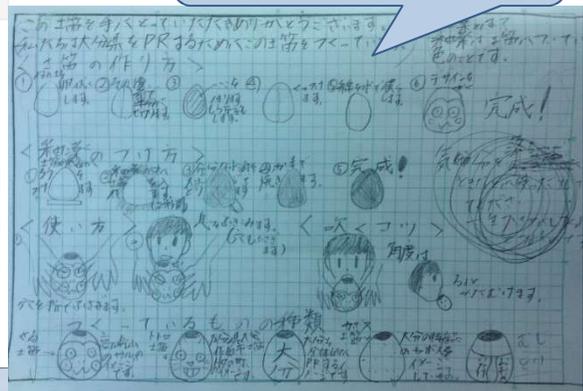
【ものづくりの楽しさ】

よりよい焼き物を目指して、うまくいかなかった原因をさぐりもう一回作る。試作を繰り返しながら、よりよいアイデアを考えたい意欲



【焼き物を使って販売】

販売・配付の補助となる、「説明書」の構想を練る。



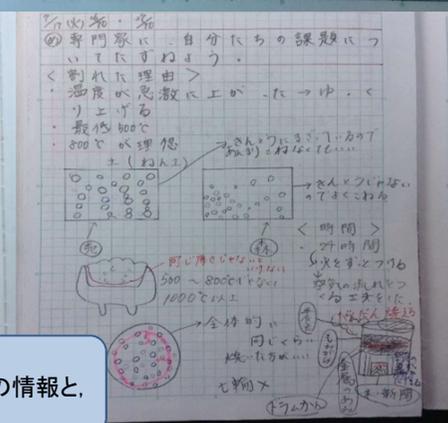
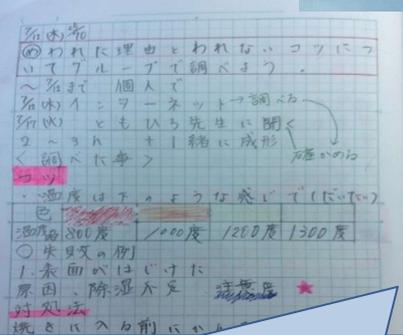
【ものづくりの楽しさ】

失敗を繰り返す中で、満足する試作品を完成することができた喜びを体感し、さらなる意欲が高める。



【情報を比較して考える】

どうしたら、割れずに焼けることができるのか、インターネットの情報と、専門家に聞いた情報を比べる。



OBS大分放送ニュース
小学生が手作り焼き物を観光客に贈る (2/2)(金) 18:47
6:37
小学生がおせんべいPR
小学生が手作り焼き物を観光客に贈る (2/2)(金) 18:47
大分の小学生がふるさとをPRしようと手作りした焼き物を観光客に贈りました。この取り組みは大分大学教育学部附属小学校が総合学習の一環で行ったものです。8日はJR別府駅前で5年生およそ30人が3か月かけて窯で焼き手作りのストラップや土間など200個を観光客にプレゼントしました。児童たちは大分に因んだカボスやサル温泉マークなどを描いた焼き物を大分の産品や観光名所も紹介しながら手交しました。で聞けてもらえたらいい。附属小学校では「活動を通して子ども達に大分の魅力やもの作りの楽しさを感じてもらいたい」と話しています。

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名: 土を使って、自然に関わる焼き物を制作し、それを使って大分のよさをアピールしよう！(小学校第5学年:70時間)

時期	4月～5月	6月～9月	10月～12月	1月～3月
探究の過程	焼き物について調べ、試作品を焼いてみよう (15時間)	焼き物を美しく仕上げる方法について調べ、よりよく焼いてみよう (20時間)	一定の形にできた焼き物を、広く発信して大分をPRしよう (20時間)	これまでの活動を生かして、焼き物をより効果的に、より広く発信しよう (15時間)
課題設定	・4年生で経験してきたことや学びを生かしながら取り組むことのできる学級総合のテーマを考える ・決定した大分をPRするための試作品を、よりしっかりとした物にするための焼き物について、その方法について課題意識をもつ。	・どのように焼けば美しい焼き物になるかを追究することについて、課題意識をもつ。	・一定の形にできた焼き物を、どのようにして発信するか、また、さらによりよい焼き物にする方法についての課題意識をもつ。	・焼き物を発信できたが、焼き物の質的にも発信方法にも課題が残ったことから、より良く、より広く発信できる方法について課題意識をもつ。
情報収集	・大分の自然をPRできる焼き物にするためには、どのようなデザインにすれば良いか、情報を集めながら考える。 ・土(粘土)の焼き方について、図書やインターネットで調べる。	・どのように焼けばよいか、図書やインターネットで調べる。 ・ゲストティーチャーを招聘し、「釉薬」について知る。	・学級の目的を達成するための発信方法をどのようにすればよいか調べる。	・より良い焼き物や、より広く発信できる方法について調べる。
整理分析	・全員で評価シートを使って試作品を見合い、学級総合の方向性をしぼっていくために各項目の平均値を求める。 ・調べて分かったことをもとに、どのように焼けばよいか、その方法について整理する。	・「釉薬」について調べたことをもとに、自分たちでできることについて、集めた情報を整理・分析する。	・集めた情報のうち、どのように発信すれば効果的に目的を達成できるかを考え、整理する。	・集めた情報のうち、どのように発信すればより効果的に目的を達成できるかを考え、整理する。
まとめ表現振り返り	・評価シートで集計した平均値を参考に方向性を決定し、改めてデザインを確認する。 ・調べたことをもとに、必要な道具を準備し、七輪を使って試作品を焼いてみる。	・調べたことをもとに、必要な道具を準備し、七輪を使って試作品を焼いてみる。	・大分駅で作品を販売したり、ステージで演奏したりする。また、アンケートをとり、これまでの活動をまとめる。	・大分駅等で作品を販売したり、ステージで演奏したりして、これまでの活動をまとめる。

【社会】「情報化社会を生きる」
・情報を集め発信するまでの工夫や努力などに着目して、放送、新聞などの産業の様子を捉え、それらの産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。
・情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。
(思考力、判断力、表現力イ)

【国語】「四年生に五年生の活動の報告をしよう」(書く)
・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。(思考力・判断力・表現力Bア)
・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(思考力・判断力・表現力Bエ)

【算数】「平均」
・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすこと。(思考力、判断力、表現力ア)

【国語】「意見交換会をしよう」(話す・聞く)
・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。(思考力・判断力・表現力Aア)
・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。(思考力・判断力・表現力Aウ)
・話しての目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。(思考力・判断力・表現力Aエ)

【図工】「心の形」
・絵や立体、工作に泡ラス活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、全学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。(A表現2イ)

5年2組

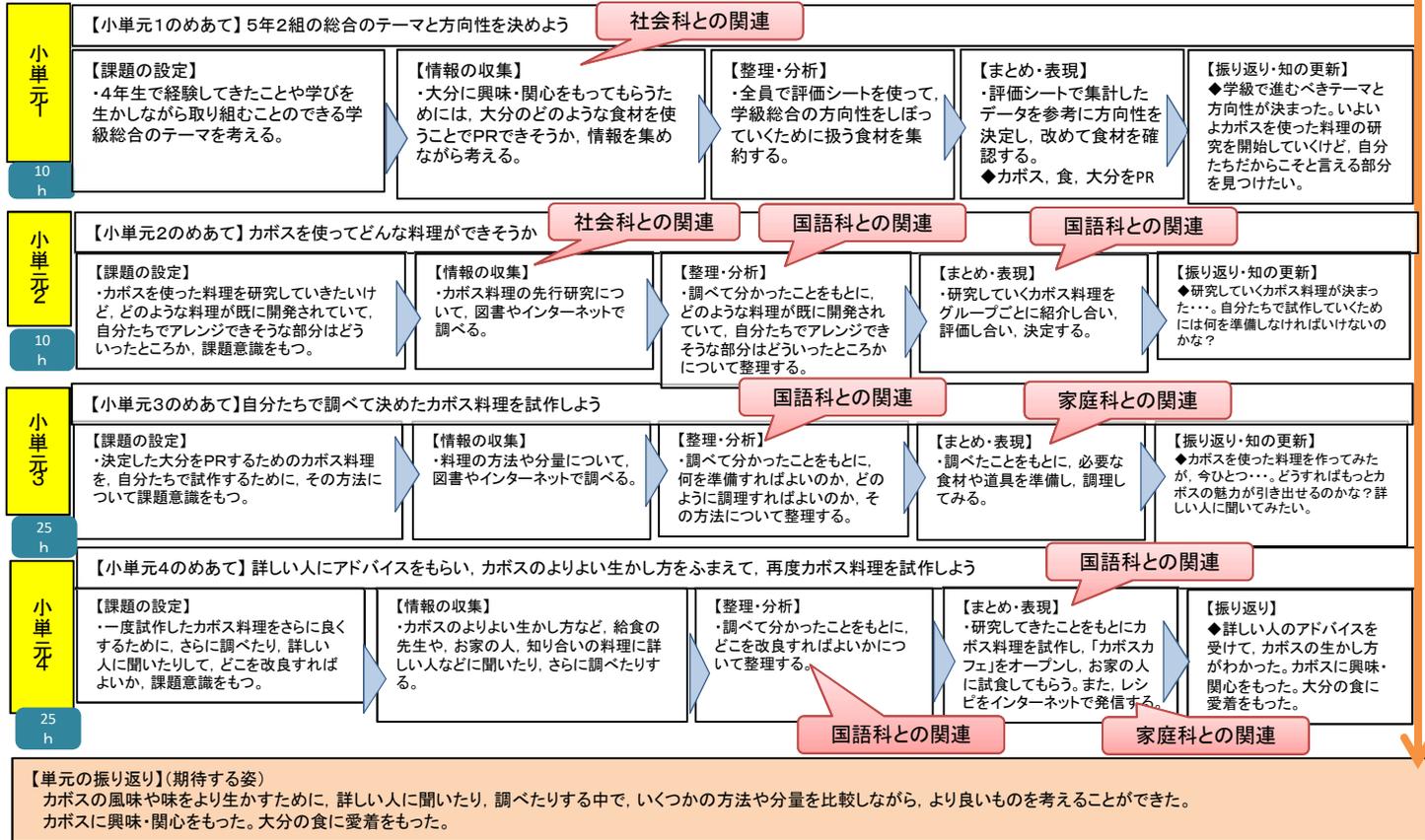
大分に興味・関心をもってもらうために、
大分を食でPRしよう！

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第5学年2組】

探究課題: 地域の食やその土地の良さ、地域の食に携わる人々の思いや願い

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、大分の食材を使った料理を試作し、発信する活動を通して、大分の食への興味・関心を高めることができるようにする。

単元のめあて: 大分に興味・関心をもってもらうために、大分を食でPRしよう！



単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、大分の食材を使った料理を試作し、発信する活動を通して、大分の食への興味・関心を高めることができるようにする。



【試作を通して、大分の食への興味・関心を高める】

学校の先生や、お家の人たちに食べてもらって、大人の見聞をもらおう。甘すぎる、すっぱすぎる、かぼすの風味が消えて大分らしさがない等、失敗したら検討して失敗した原因をさぐりもう一回作る。分量を変えてみるとうまいくのでは。

(※試行錯誤を繰り返し、より大分の食材が生かした料理を追究する姿)



【発信を通して、大分の食への興味・関心を高める】

駅で食べてもらった時に、かぼすに合う料理をたくさん教えてくれる方がいた。家でも試してみたい。

(※次々に試したいことが浮かび意欲的な姿)

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 大分に興味・関心をもってもらうために、大分を食でPRしよう！（小学校第5学年：70時間）

時期	4月～5月	6月～7月	9月～12月	1月～3月
探究の過程	5年2組の総合のテーマと方向性を決めよう (10時間)	カボスを使ってどんな料理ができそうか (10時間)	自分たちで調べて決めたカボス料理を試作しよう (25時間)	詳しい人にアドバイスをもらい、カボスのよりよい生かし方をふまえて、再度カボス料理を試作しよう(25時間)
課題設定	・4年生で経験してきたことや学びを生かしながら取り組むことのできる学級総合のテーマを考える。	・カボスを使った料理を研究していきたいけど、どのような料理が既に開発されていて、自分たちでアレンジできそうな部分はどこか、課題意識をもつ。	・決定した大分をPRするためのカボス料理を、自分たちで試作するために、その方法について課題意識をもつ。	・一度試作したカボス料理をさらに良くするために、さらに調べたり、詳しい人に聞いたりして、どこを改良すればよいか、課題意識をもつ。
情報収集	・大分に興味・関心をもってもらうためには、大分のどのような食材を使うことでPRできそうか、情報を集めながら考える。	・カボス料理の先行研究について、図書やインターネットで調べる。	・料理の方法や分量について、図書やインターネットで調べる。	・カボスのよりよい生かし方など、給食の先生や、お家の人、知り合いの料理に詳しい人などに聞いたり、さらに調べたりする。
整理分析	・全員で評価シートを使って、学級総合の方向性をしぼっていくために扱う食材を集約する。	・調べて分かったことをもとに、どのような料理が既に開発されていて、自分たちでアレンジできそうな部分はどこかについて整理する。	・調べて分かったことをもとに、何を準備すればよいか、どのように調理すればよいか、その方法について整理する。	・調べて分かったことをもとに、どこを改良すればよいかについて整理する。
まとめ表現 振り返り	【まとめ・表現】 ・評価シートで集計したデータを参考に方向性を決定し、改めて食材を確認する。 ◆カボス、食、大分をPR 【振り返り・知の更新】 ◆学級で進むべきテーマと方向性が決まった。いよいよカボスを使った料理の研究を開始していくけど、自分たちだからこそと言える部分を見つけたい。	【まとめ・表現】 ・研究していくカボス料理をグループごとに紹介し合い、評価し合い、決定する。 【振り返り・知の更新】 ◆研究していくカボス料理が決まった…。自分たちで試作していくためには何を準備しなければいけないのかな？	【まとめ・表現】 ・調べたことをもとに、必要な食材や道具を準備し、調理してみる。 【振り返り・知の更新】 ◆カボスを使った料理を作ってみたが、今ひとつ…。どうすればもうカボスの魅力が引き出せるのかな？詳しい人に聞いてみたい。	【まとめ・表現】 ・研究してきたことをもとにカボス料理を試作し、「カボスカフェ」をオープン。お家の人に試食してもらおう。また、レシピをインターネットで発信する。 【振り返り】 ◆詳しい人のアドバイスを受けて、カボスの生かし方がわかった。カボスに興味・関心をもった。大分の食に愛着をもった。

【国語】「学級の問題について話し合おう」(話す・聞く)(既習)
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)
・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

「考えるための技法」の活用

【社会】「地形や気候を生かして」(4年・既習)
・大分県の人々が地形や気候の特徴を生かして特産物を作っていることを考えることができるようにする。(思・判・表)

【国語】「クラブ活動を紹介するポスターを作ろう」(書く)
・見出しや図表など様々な構成を理解し書いている。(伝国イ(キ))

【家庭科】「はじめてみようクッキング」
・必要な材料や手順を考え調理計画を立てている。(創・工)
・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取り扱いができる。(技能)

【国語】「四年生に五年生の活動の報告をしよう」(書く)
・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。(思考力・判断力・表現力Bア)
・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。(思考力・判断力・表現力Bエ)

5年3組

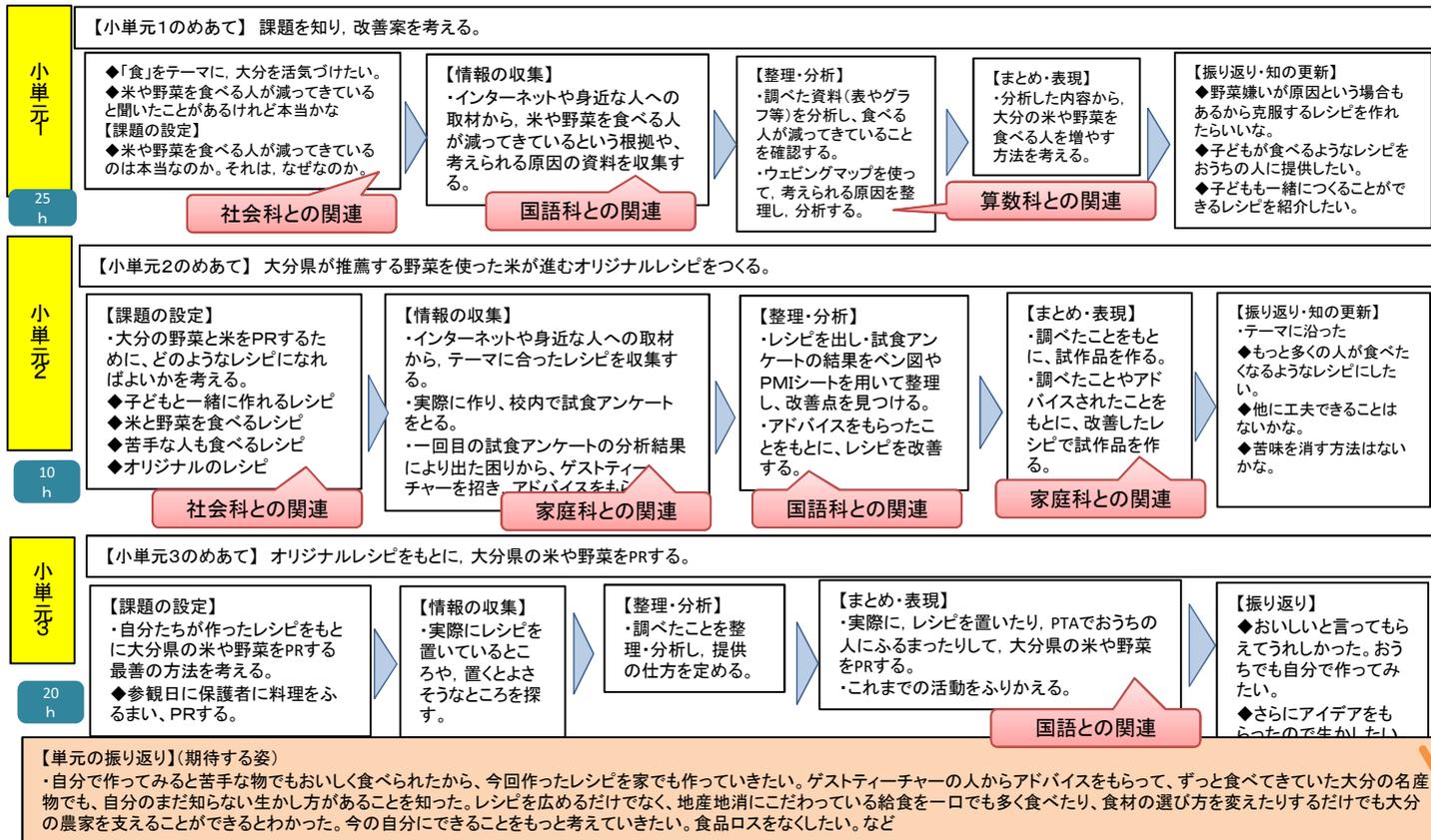
大分県の米や野菜をPRしよう

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第5学年3組】

探究課題： 大分県の農業に関する課題点と、携わる人々の思いや願い

単元のねらい 探求的な見方・考え方を働かせ、オリジナルレシピを作ったり、広報活動をしたりする活動を通して、地産地消への意識を高めることができるようにする。

単元のめあて： 大分県の米や野菜をPRしよう



単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探求的な見方・考え方を働かせ、オリジナルレシピを作ったり、広報活動をしったりする活動を通して、地産地消への意識を高めることができるようにする。

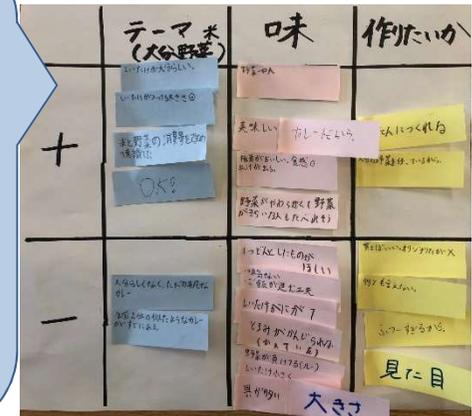


【オリジナルレシピを作ることで、地産地消への意識を高める】

- もっと大分らしさのある料理にしたい！大分県がおすすめしている野菜をもっと調べて、地元のものをもっと使った料理にしたい！
- 作ったレシピをおうちでも試してみたら、簡単にできた。これなら、だれでも無理せず地産地消に取り組んでいけそう。
- ※試行錯誤を繰り返し、大分のことをより深く知ろうとしたり、各家庭で地産地消に取り組みやすい料理を追究したりする姿

【探求的な見方・考え方】

- 試作のアンケート結果から、しいたけが好きなのは大きいサイズの方が肉厚でおいしいと思っているけれど、苦手な人にとってはしいたけそのものの味がして食べづらいことがわかった。しいたけの良さを生かしながらも、苦手な人でも食べられる方法はないか。しいたけを出汁として使ってみてはどうか。



【広報活動を通して、地産地消への意識を高める】

- 学習発表会でおうちの人に食べてもらったら、みんながおいしいと最後まで食べてくれてうれしかった。いろんな食感をあつていいとほめてくれた。おうちでも作ってほしいし、自分でも作っていききたい。
- ※今後につなげていきたいことが浮かび意欲的な姿

本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 大分県の米や野菜をPRしよう

時期	5月～7月	9月～12月	1月～3月	【社会】 「食料生産を支える人々」 地図や統計などの資料を活用して、我が国の農業や水産業の様子について必要な情報を集め、読み取っている。(技能) 様々な食料生産が国民の食生活を支えていることや、我が国の農業や水産業は国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。(知・理)
探究の過程	課題を知り、改善案を考える。	大分県が推薦する野菜を使った米が進むオリジナルレシピをつくる。	オリジナルレシピをもとに、大分県の米や野菜をPRする。	
課題設定	<ul style="list-style-type: none"> ◆「食」をテーマに、大分を活気づけたい。 ◆米や野菜を食べる人が減ってきていると聞いたことがあるけれど本当かな 【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> ◆米や野菜を食べる人が減ってきているのは本当なのか。それは、なぜなのか。 	【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・大分の野菜と米をPRするために、どのようなレシピになればよいかを考える。 ◆子どもと一緒に作れるレシピ ◆米と野菜を食べるレシピ ◆苦手な人も食べるレシピ ◆オリジナルのレシピ 	【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが作ったレシピをもとに大分県の米や野菜をPRする最善の方法を考える。 ◆参観日に保護者に料理をふるまい、PRする。 	
情報収集	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや身近な人への取材から、米や野菜を食べる人が減ってきているという根拠や、考えられる原因の資料を収集する。 	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや身近な人への取材から、テーマに合ったレシピを収集する。 ・実際に作り、校内で試食アンケートをとる。 ・一回目の試食アンケートの分析結果により出た困りから、ゲストティーチャーを招き、アドバイスをもらう。 	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> ・実際にレシピを置いているところや、置くとよさそうなところを探す。 	
整理分析	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・調べた資料(表やグラフ等)を分析し、食べる人が減ってきていることを確認する。 ・ウェビングマップを使って、考えられる原因を整理し、分析する。 	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・レシピを出し、試食アンケートの結果をベン図やPMIシートを用いて整理し、改善点を見つける。 ・アドバイスをもらったことをもとに、レシピを改善する。 	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを整理・分析し、提供の仕方を定める。 	
まとめ 表現 振り返り	【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・分析した内容から、大分の米や野菜を食べる人を増やす方法を考える。 【振り返り・知の更新】 <ul style="list-style-type: none"> ◆野菜嫌いが原因という場合もあるから克服するレシピを作れたらいいな。 ◆子どもが食べるようなレシピをおうちの人に提供したい。 ◆子どもと一緒につくることができるレシピを紹介したい。 	【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに、試作品を作る。 ・調べたことやアドバイスされたことをもとに、改善したレシピで試作品を作る。 【振り返り・知の更新】 <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った ◆もっと多くの人が食べたいようなレシピにしたい。 ◆他に工夫できることはないかな。 ◆苦味を消す方法はないかな。 	【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・実際に、レシピを置いたり、PIAでおうちの人にふるまったりして、大分県の米や野菜をPRする。 ・これまでの活動をふりかえる。 【振り返り】 <ul style="list-style-type: none"> ◆おいしいと言ってもらえてうれしかった。おうちでも自分で作ってみたい。 ◆さらにアイデアをもらったので生かしたい。 	【算数】 「表やグラフ」割合「単位数あたりの大きさ」目的に応じて資料を集めて分類整理し、表やグラフを用いて表したり、特徴を調べることができる。(第四学年)百分率について理解し、帯グラフや円グラフを用いて表したり、特徴を調べたりすることができる。(第五学年) 【国語】 <ul style="list-style-type: none"> ・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア) ・相手に伝えるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)(第四学年)
【国語】	「情報ノートをつくらう」 自分の課題を解決するために、複数の文章を比べて読み、必要な情報を選んでいる。(読カ)	【家庭科】 「はじめてみようクッキング」 ・計量器具を扱い、必要な材料を計量することができる。(技能) ・調理において適切な材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付けや配膳及び後片付けができる。(技能)	【クラスで活動報告をしよう】 小冊子の中に含まれる様々な文や文章の種類に着目し、割り付けやレイアウトなどの構成を考えている。(書一イ) 自分が多くの人に是非薦めたいと思う事物のよさを、確かな根拠をもって選んだり、他と比較してよさを捉えたりしている。(書一ア) 話し言葉と書きことばとの違いに気付いて書いている。(伝国イ(ア)) 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合う。(読一カ)	

6年1組

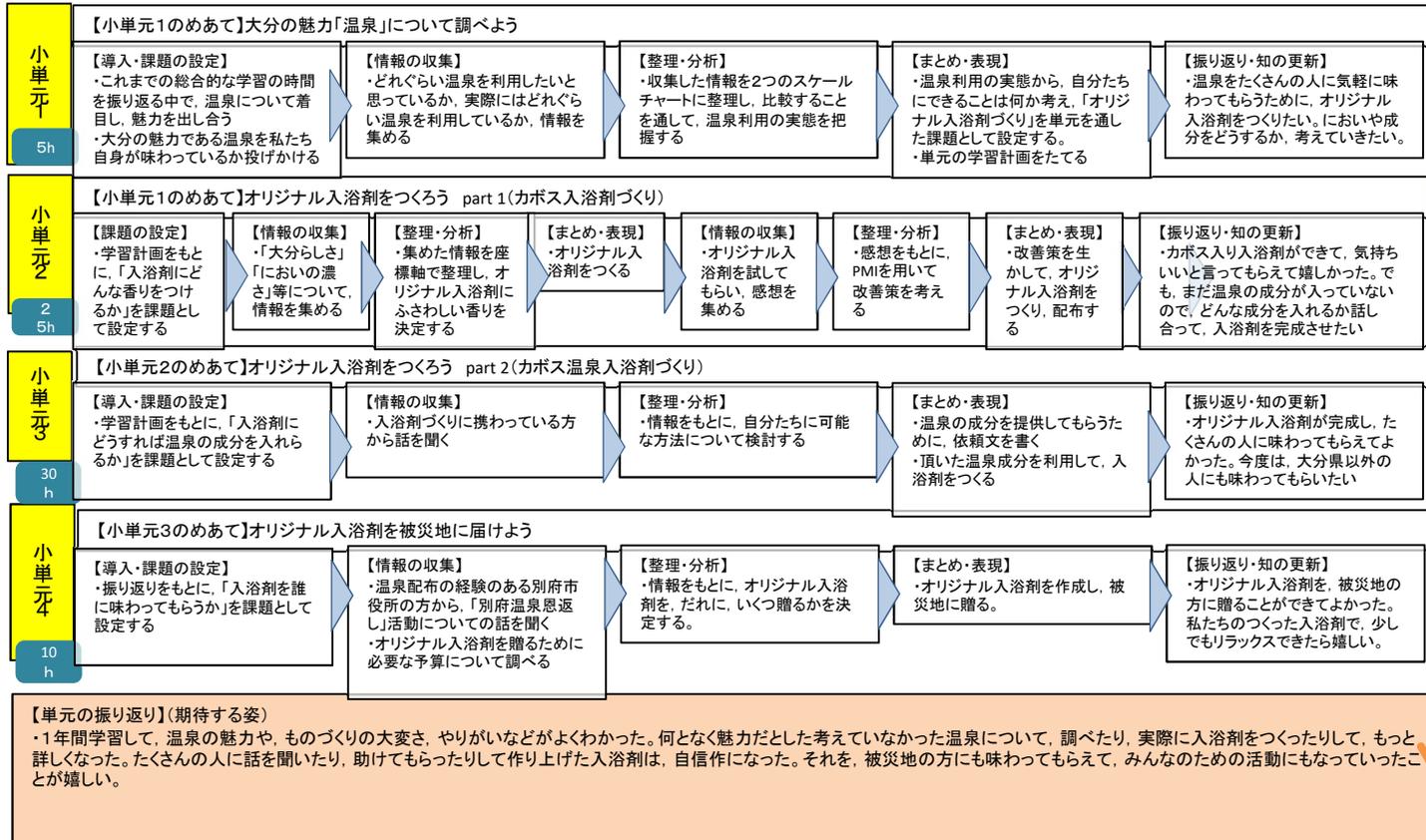
おんせん県大分プロジェクト
～オリジナル入浴剤をつくろう～

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第6学年1組】

探究課題： 入浴剤づくりの面白さや工夫、温泉や入浴剤づくりに携わる人々の工夫や願い

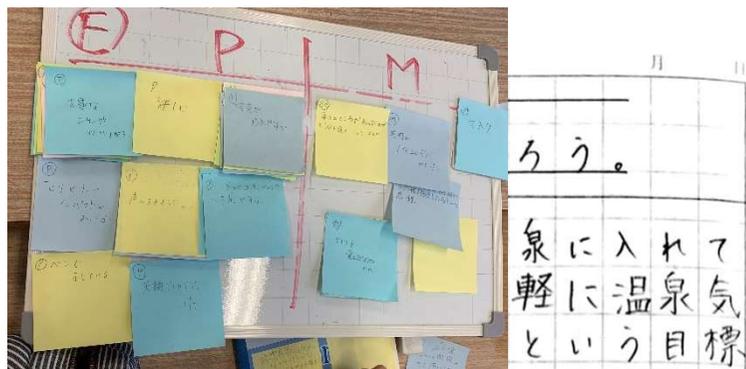
単元のねらい： 探究的な見方・考え方を働かせ、温泉や温泉を活用した入浴剤づくりに携わる人々に関わる活動を通して、課題を自ら見つけ、その解決に向けて考えるための技法を活用しながら考えを深めることができるようにする。

単元のめあて： おんせん県大分プロジェクト ～オリジナル入浴剤をつくろう～



単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、温泉や温泉を活用した入浴剤づくりに携わる人々に関わる活動を通して、課題を自ら見つけ、その解決に向けて考えるための技法を活用しながら考えを深めることができるようにする。



らう。

泉に入れて
軽に温泉気
という目標

にした時は、作れるのだらうか...
という心配がありました。
その後、視点を考えたりふせんを
使。たりして、視野を広げたりし
て、自分達で進めることができた
ので、達成感というもの、より
大きくなりました。
課題を改善していくために自分た
ちができることで自...
インターネットを使...的に

【考えるための技法を活用して考えを深める】
視点を考えたり付箋をつかったりして、視野を広げながら自分たちで進めることができた

こと、その他たくさんのかを自分
たちで進める総合を通し、つきた
と思います。

【課題を自ら見つけ】
自分たちで1から考える力がついたと思う。先生が何も言わなくても、(入浴剤を作るために)におい、形、作り方、においの付け方、においの出し方など、自分たちだけで考え、実行していった

できたと思...ます。私たちの目標は「臭いあまり温
泉...
人たちに気軽に温泉気分を味わってもらいた...
た...
これに関するコメントを書いてくれた人もたくさんいた
...
のよさや、大切に来てほしい!と思った人もいろいろ
...
ないから、私はたっせりできたと思...ます。

総合の総合では「自分たちで1から考える力」が付いたと思...
ます。なぜなら、永井先生が何も言わなくても、におい、形、作り方、
においのつけ方、においの出し方、などほかにもあると思...ますか、
自分たちだけで考え、実行したので、私は、「自分たちで1から
考える力」が付いたと思...ました。

総合の思...出は、おぼろのにおいをどうやってつけるかをみんな
で話し合ったことと思...出です。おぼろは、おぼろの果汁を入れて
...
...
...
理科を専門にして...
...
自分たちから...
...
...
...
たです!



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力(例)

単元名： 自分たちのごまだし料理をつくって紹介しよう(小学校第3学年:50時間)

時期	9月～10月	11月～1月	2月～3月
探究の過程	ごまだしについて調べたり体験したりしたことや考えたことをまとめ、課題をつくる(15時間)	自分たちのオリジナルごまだし料理をつくろう!(20時間)	お世話になった人たちを招待して、ごまだしパーティを開こう(15時間)
課題設定	社会科の「私たちの市」の学習から発展させて「ごまだし」に目を向けさせ、名物であるわけについて興味・関心を持たせる。 多くの種類のごまだしを提示し、「同じ地域なのに、どうしてこんなにたくさん種類の「ごまだし」があるのだろう」と投げかけ、知っていることを共有する。(ウェブマップ)	・自分たちの力でごまだし料理をつくるために、必要なことは何だろうか?	・ごまだしパーティを成功させるための内容と準備はどのようにすればよいか。 
情報収集	・ごまだしについての情報集める。 ・家族、パンフレット、お店、地域で活動している団体など。 ・GTの支援を受けながら、実際に作ってみる。(体験活動)	・ごまだしを使った料理を調べる。 ・ごまだしの材料などをお店の人や家族に聞く。 ・調べてきた料理をグループで共有する。	・パーティの内容についてのアイデアを出し合う。 ・アイデアを実現するための準備について調べる。
整理分析	・収集した情報や体験活動を通して分かったことを、視点を決めて分類・整理する。	【整理・分析①】 ・調べたり、考えたりしたごまだし料理から、パーティに出す料理を決める。 ・「一度にたくさん作れる」「簡単にできる」「時間がかからない」3つの視点で、マトリックスを使って話し合う。	【整理・分析②】 ・試食の結果を受けて、パーティに出す料理を決める。 ・P&Sシートを使って、改善策を考える。
まとめ表現振り返り	・ごまだしについて分かったことを、新聞にまとめる。 ・自分たちの力で、ごまだし作りに挑戦する。【体験活動】 【期待する振り返り】 ・古くからごまだしが作られている理由が分かった。 ・ごまだしについて調べたり、自分たちだけで作ったりして、使い方がたくさんあることが分かった。 ・自分たちのごまだし料理にも挑戦して、みんなでパーティをしたい。	【まとめ・表現①】 ・選んだ料理を作って試食する。 【体験活動】	【まとめ・表現②】 ・パーティに出すことになったごまだし料理の作り方をレシピにまとめる。 ・パーティに出す料理も決まったし、レシピも完成した。いままでお世話になった人たちを招待して、ごまだしパーティを成功させたい。パーティの準備を頑張りたい。
			【まとめ・表現】 ・これまでに考えたり取り組んで分かったことを、相手意識や目的意識を明確にしてまとめる。 ・ごまだしパーティを開く。 【期待する振り返り】 ・ごまだしパーティを成功させることができた。調べたことやまとめたことを、家族や地域の人たち、他の学年の人にも伝えたい。
			【国語】「調べたことをほうこくしよう」(話す・聞く) ・相手や目的に応じて、必要な事柄について適切にインタビューをしたり、資料を使って調べ、報告する。(思・判・表)
			【国語】「中心場面を明らかにして書こう」(書く) ・段落相互の関係などに注意して、中心場面を決めて様子が伝わるように書く。(思・判・表)
			【国語】「本で調べよう」 ・知りたいことに応じて、本を選んで調べる。
			【国語】「話し合ってみなりの考えをまとめよう」(話す・聞く) ・話し合っている内容をよく聞き、互いの考えの共通点や相違点を考えながら、議題からそれないように発言する。(思・判・表)
			「考えるための技法」の活用
			【国語】「調べてほうこくしよう」(話す・聞く) ・相手や目的に応じて、必要な事柄について適切にインタビューをしたり、資料を使って調べ、報告する。(思・判・表)
			【国語】「発見ノートを作ろう」(書く) ・興味のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書くうえで必要な事柄を調べて「発見ノート」に書く。(思・判・表)
			【国語】「生き物のとくちょうをくらべて書こう」(書く) ・事柄の特徴を明確にし、目的や必要に応じて理由や根拠をあげて書く。(思・判・表)
			【国語】「たからものを紹介しよう」(話す・聞く) ・スピーチメモをもとに、理由をあげて筋道を立ててわかりやすく話す。(技)
			【国語】「調べたことをほうこくしよう」(話す・聞く/書く) ・書くこととすることの中心を明確にして、目的や必要に応じて書く。(思・判・表)
			【社会】「働く人とわたしたちのくらし」 ・お客の願いと店の工夫のかかわりについて考え表現する。(思・判・表) ・さまざまな店や買い物の仕方のよさや自分の暮らしとのつながりについて考え、表現する。(思・判・表) ・視点を決めて観察したり、買い物客へインタビューしたりして、必要な情報を集める。(技)
			【社会】「働く人とわたしたちのくらし」 ・見学でわかったことを観点に沿って出し合い、それらを分類したり、関連付けたりしながらまとめる。(思・判・表) ・店や工場、農家の仕事は自分たちとかがわりがあり、自分たちの暮らしを支えていることを考え、ちらしやノートに表現する。(思・判・表)



6年2組

大分サバイバル大作戦
～大分県民を災害から守ろう～

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第6学年2組】

探究課題: 防災マップや防災グッズの有用性, 防災に携わる人々の工夫や願い

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ, 防災マップや防災グッズを試したり開発したりする活動を通して, 防災への意識を高めることができるようにする。

単元のめあて: 大分サバイバル大作戦～大分県民を災害から守ろう～

【小単元1のめあて】自分たちにできることを考えよう

小単元1

☆修学旅行「雲仙普賢岳」との関連
【資料提示】
・大分県で今後起こりうる災害について
南海トラフ地震
【課題の設定】
◆災害について学習し, 地震が起きた時生き残りたい
◆災害について発信し, 大分県民を災害から守りたい

【情報の収集】
・クラス全体できそうなことを交流する
・地震について調べる(本, インターネット)
・保護者へのアンケート
・大分駅での街頭調査

【整理・分析】(予想される回答)
○災害前の対策
・ハザードマップの作成
・避難経路の確認
○災害後の対策
・防災グッズ 食料の確保 断水, 停電への対処 避難所での生活

【まとめ・表現】
・災害に対して多くの人が不安を感じている。
・災害前後に対策をすれば被害を減らせそう。

【振り返り・知の更新】
◆大分県民の不安を少しでも減らせるよう, 災害前後の対策について調べてまとめ, 発信していきたい。

10h

【小単元2のめあて】災害前後できそうなことを調べ, 試してみよう。

小単元2

【課題の設定】
・ハザードマップ・避難経路
・防災グッズ 食料の確保
◆実際に, 便利か実現可能か試してみたい。

【情報の収集】
・インターネットや本, 専門家への取材などから, 災害前後できそうなことについて情報を収集する。
・実際に作ったり試したりしてみる。

【整理・分析】
・作ったり試したりしてわかったよさや改善点を整理する。

【まとめ・表現】
・ハザードマップ・避難経路を知らないと正しく逃げられない。
・市販の防災グッズは備えていないと使えない。

【振り返り・知の更新】
・いつでもだれにでも使えるハザードマップ・避難経路がいいな。
・身近な物で作って使える防災グッズがいいな。

25h

【小単元3のめあて】いつでもだれにでも使える防災マップ・グッズを開発しよう

小単元3

【課題の設定】
◆大分県民全員が助かるようにしたい
◆使いやすいものになりたい
◆いつでもだれにでも使えるマップ・防災グッズを作りたい。

【情報の収集】
・インターネットや本, 専門家への取材などから, 防災マップ・グッズについて情報を収集する。
・実際に作ったり試したりしてみる。
・専門家に見せ, 意見をもらう。

【整理・分析】
・作ったり試したりしてみてもわかったよさや改善点を整理する。
・いつでも使えるか
・だれにでも使えるか。

【まとめ・表現】
・改善点をもとに修正し仕上げる。

【振り返り】
・完成した防災マップやグッズを大分県民へ広めたい。

25h

【小単元4のめあて】6年2組オリジナル防災マップ・グッズを大分県内へ発信しよう

小単元4

【課題の設定】
◆完成した防災マップ・グッズを大分県民へ広めたい
◆どんな方法で広めるとよいか

【情報の収集】
・広め方のアイデアを出し合い調べる。
・広め方を専門家に聞く。

【整理・分析】
・どの広め方が自分たちの目的に合っているか

【まとめ・表現】
・調べた方法で実際に発信する。

【振り返り】
・授業の初めと終わりの防災意識の変化を実感する。

10h

【単元の振り返り】(期待する姿)

・1年間の学習を通して, 災害に備えることの大切さを実感した。「大分で大きな地震が起こる」ということを聞いたことがあるけど, あまり実感が沸かなかった。「災害に備えない」とは思っていたけれど, なかなか行動に移すことができなかった。今回開発した防災マップ・防災グッズを大分県の人に知ってもらい, 防災に対する意識を高めてほしい。

単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、防災マップや防災グッズを試したり開発したりする活動を通して、防災への意識を高めることができるようにする。

【探究的な見方・考え方を働かせ】
紙コップがこげてしまった。水の量を増やしたり紙コップの形を変えようまくいくのでは。

紙コップの底のふちがこげに
 → 水の量をふやす?
 → 火力を弱める?
 (サトウの実験ではお湯に
 下は、7mm部分(平らにする))



【防災への意識を高める】
災害が起きて、自分や家族を守る方法はあることを知りました。いつでも行動できるように準備したいです。

【防災への意識を高める】
南海トラフは人事ではなく、自分にも大きく関係していることが学べました。ちゃんと家に食料やグッズを備えたいです。

今日で災害について考えたり、ちゃんと防災グッズをきなえたことがなかったけど、南海トラフは人事ではなく、自分にも大きく関係していることがわかった。ちゃんと家に食料やグッズをきなえたこと、発表したりととても楽しかった。今日で知らなかったことがたくさん知れたのも、この総合をしようか、ということです。自分たちのグループでは、みんなにコンパクトタオルのせつめいをして、おどろいてくれたのがうれしかった。



今回の学習を通して、災害のおそろしさやこわさ、自分の命や家族の命の大切さを理解することができました。
 ただ、それだけでなく、災害がおきても、自分や家族を守る方法はあることを知りました。防災グッズを用意したり、食の作り方をしっておいたりとか、私たちができることはたくさんあるんだなと、なにがおきても、おちついて行動すること、命も守れると思いました。
 なので、これからは、家族と、災害について、ことが大切だと思います。
 そして、おちついて、いつでも行動できるように準備して、いつおこるかわからない災害に、あつたときに、しっかり対応して、自分の命もおとさせない、安全な大分にしていきます。
 この学習で、私は、命の大切さを感じ、命の尊さを感じることができました。
 このことを大切にしていきたいです。



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： 大分サバイバル大作戦～大分県民を災害から守ろう～(小学校第6学年:70時間)

時期	5月～7月	9月～11月	12月～2月	2～3月	
探究の過程	自分たちにできることを考えよう (10時間)	災害前後にできそうなことを調べ、試してみよう (30時間)	いつでもだれにでも使える防災マップ・グッズを開発しよう (20時間)	6年2組オリジナル防災マップ・グッズを大分県内へ発信しよう (10時間)	【家庭科】「はじめてみようクッキング」(5年・既習) ・材料や目的に応じたゆで方ができる。(技能)
課題設定	☆修学旅行「雲仙普賢岳」との関連 【資料提示】 ・大分県で今後起こりうる災害について 南海トラフ地震 【課題の設定】 ◆災害について学習し、地震が起きたとき生き残りたい ◆災害について発信し、大分県民を災害から守りたい	【課題の設定】 ・ハザードマップ・避難経路 ・防災グッズ・食料の確保 ◆実際に、便利か実現可能か試してみたい。	【課題の設定】 ◆大分県民全員が助かるようにしたい ◆使いやすいものになりたい ◆いつでもだれにでも使えるマップ・防災グッズを作りたい。	【課題の設定】 ◆完成した防災マップ・グッズを大分県民へ広めたい ◆どんな方法で広めるとよいか	【家庭科】「暑い季節を快適に」 ・すずしい着方について考えたり、自分なりに工夫している。(創意・工夫)
情報収集	・クラス全体できそうなことを交流する ・地震について調べる(本、インターネット)	・インターネットや本などから、災害前後にできそうなことについて情報を収集する。 ・実際に作ったり試したりしてみる。	・インターネットや本、専門家への取材などから 防災マップ・グッズについて情報を収集する。 ・実際に作ったり試したりしてみる。 ・専門家に見せ、意見をもらう。	・広め方のアイデアを出し合い調べる。 ・広め方を専門家に聞く。	【図工】「1枚の板から」 生活の中で使えるように、目的や用途などからつくりたいものを思い付き、図などをかいて計画を考えている。(想)
整理分析	○災害前の対策 ・ハザードマップの作成 ・避難経路の確認 ○災害後の対策 ・防災グッズ・食料の確保 ・断水、停電への対処	・作ったり試したりしてわかったよさや改善点を整理する。	・作ったり試したりしてみわかったよさや改善点を整理する。 ・いつでも使えるか ・だれにでも使えるか	・どの広め方が自分たちの目的に合っているか ・ポスター ・パンフレット等	【体育】「けがの防止」 身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当について課題を設定し、解決の方法を考えたり、判断したりできる。(思・判)
まとめ表現振り返り	【まとめ・表現】 ・災害に対して多くの人が不安を感じている。 ・災害前後に対策をすれば被害を減らせよう。 【振り返り・知の更新】 ◆大分県民の不安を少しでも減らせるよう、災害前後の対策について調べてまとめ、発信していきたい。	【まとめ・表現】 ・ハザードマップ・避難経路を知らないと正しく逃げられない。 ・市販の防災グッズは備えていないと使えない。 【振り返り・知の更新】 ・いつでもだれにでも使えるハザードマップ・避難経路がいいな。 ・身近な物で作れ使える防災グッズがいいな。	【まとめ・表現】 ・改善点をもとに修正し仕上げる。 【振り返り・知の更新】 ・完成した防災マップやグッズを大分県民へ広めたい。	【まとめ・表現】 ・調べた方法で実際に発信する。 【振り返り・知の更新】 ・授業の初めと終わりで防災意識の変化を実感する。	【国語】「大分市政にもの申す～パネルディスカッションを通して～」 互いの意見の違いを大事にしなが、話し合っている。(A・オ)

【国語】「縦割り班遊びの内容をグループで話し合おう」(話す)
話し手の意見を自分の意見や他の意見と関連づけて聞き、話している。(話・エ)

【国語】「学校案内パンフレット」(書く)
新一年生の保護者に安心してもらうために、必要な情報を収集したり、整理したりしながら書いている(書・ア)

【国語】「係活動紹介ポスター」(5年・既習)
見出しや図表など様々な構成を理解し書いている。(伝国イ(キ))

「考えるための技法」の活用

6年3組

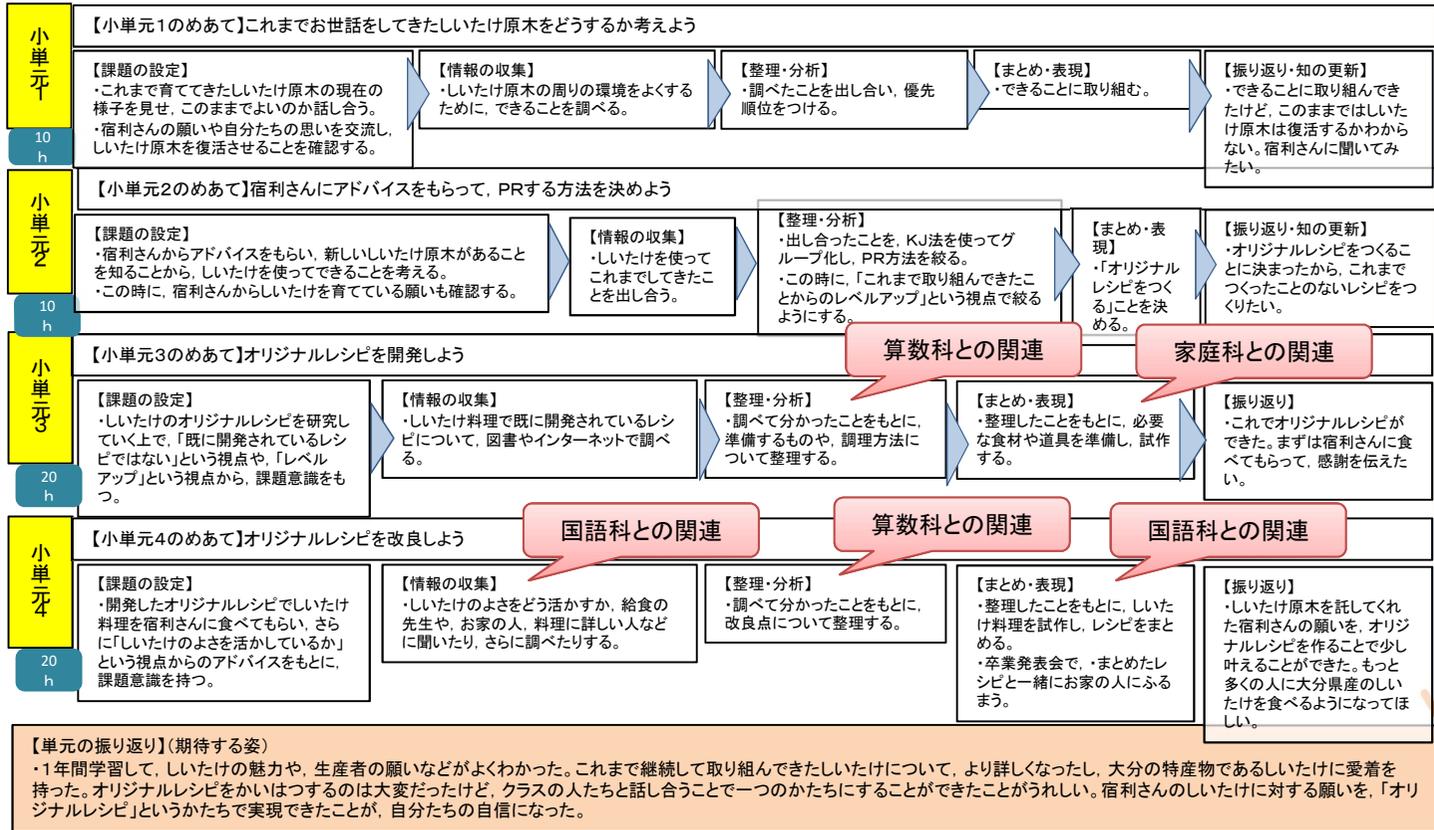
しいたけで大分をPRしよう！

小学校総合的な学習の時間の単元計画【第6学年3組】

探究課題: しいたけのオリジナルレシピづくりの面白さや工夫、しいたけづくりに携わる人々の工夫や願い

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、地元の特産物のしいたけをPRする活動を通して、地域のよさや地域を支えている人がいることに気づき、地域に対する愛着を高めることができる。

単元のめあて: しいたけで大分をPRしよう！



単元のねらいにせまる具体的な子どもの姿(児童の振り返りより)

単元のねらい: 探究的な見方・考え方を働かせ、地元の特産物のしいたけをPRする活動を通して、地域のよさや地域を支えている人がいることに気付き、地域に対する愛着を高めることができる。

【地域のよさや地域を支えている人がいることに気付く】

しいたけ農協の方が、自分たちのためにわざわざ原木を持ってきてくださったので、この原木からしいたけを栽培して、しいたけで大分をPRしたい。

(※地域の方の思いや願いを感じ、自分たちの取組で返そうとする姿)



【地域に対する愛着を高める】

しいたけ料理を配って大分をPRすることができた。大分に興味・関心を持ってきて嬉しかったし、自分たちが進めてきた総合に自信が持てた。それに、足を止めて話を聞いてくれて料理を食べてくれる人が多かったことも印象に残った。大分っていいところだなと思ったし、しいたけは大分が誇る特産品であることを再確認することができた。

(※活動を振り返り、地域の人や特産品のよさに気付いている姿)



本単元と関連して育成を目指す各教科等の資質・能力

単元名： しいたけで大分をPRしよう！（小学校第6学年：70時間）

時期	5月～7月	9月～10月	11月～12月	1月～3月
探究の過程	これまでお世話をしてきたしいたけ原木をどうするか考えよう（10時間）	しいたけをPRする方法を決めよう（10時間）	オリジナルレシピを開発しよう（20時間）	オリジナルレシピを改良しよう（20時間）
課題設定	【体験活動】 ・これまで育ててきたしいたけの原木の環境をよくする体験から、しいたけへの愛着を確認する。 【課題の設定】 ◆しいたけ原木の環境をよくしたい！ ◆しいたけ原木を復活させたい！	【課題の設定】 ・しいたけ農協の方からアドバイスをもらい、新しいしいたけ原木があることを知ることから、しいたけ原簿の環境を維持してしいたけを栽培することを改めて確認する。 ・しいたけを使ってできることを考える。 ◆しいたけでどのようにして大分をPRできるかな？	【課題の設定】 ・しいたけのオリジナルレシピを研究していく上で、「既に開発されているレシピではない」という視点や、「レベルアップ」という視点から、課題意識をもつ。 ◆どんなレシピなら、「レベルアップ」につながるかな？	【課題の設定】 ・開発したオリジナルレシピでしいたけ料理をしいたけ農協の方に食べてもらい、さらに「しいたけのよさを活かしているか」という視点からのアドバイスをもとに、課題意識を持つ。 ◆どんなレシピなら、「しいたけのよさを生かしているか」につながるかな？
情報収集	・しいたけ原木の周りの環境をよくするためにできることを、インターネットや本、身近な人へのインタビューを通して調べる。	・しいたけを使ってこれまでしてきたことを出し合う。	・しいたけ料理で既に開発されているレシピについて、図書やインターネットで調べる。	・しいたけのよさをどう活かすか、給食の先生や、お家の人、料理に詳しい人などに聞いたり、さらに調べたりする。
整理分析	・調べたことを出し合い、優先順位をつける。	・出し合ったことを、KJ法を使ってグループ化し、PR方法を絞る。 ・この時に、「これまで取り組んできたことからのレベルアップ」という視点で絞るようにする。	・調べて分かったことをもとに、準備するものや、調理方法について整理する。	・調べて分かったことをもとに、改良点について整理する。
まとめ表現 振り返り	【まとめ・表現】 ・できることに取り組む。 【振り返り・知の更新】 ◆できることに取り組んできたけど、このままではしいたけ原木は復活するかかわからない。しいたけ農協の方に聞いてみたい。	【まとめ・表現】 ・「オリジナルレシピをつくる」ことを決める。 【振り返り・知の更新】 ・オリジナルレシピをつくることに決まったから、これまでつくったことのないレシピをつくりたい。	【まとめ・表現】 ・整理したことをもとに、必要な食材や道具を準備し、試作する。 【振り返り・知の更新】 ・これでオリジナルレシピができた。まずはしいたけ農協の方に食べてもらって、感謝を伝えたい。	【まとめ・表現】 ・整理したことをもとに、しいたけ料理を試作り、レシピをまとめる。 ・大分駅でしいたけ料理を配る。 【振り返り・知の更新】 ・しいたけ原木を託してくれた宿利さんの願いを、オリジナルレシピを作ることです少し叶えることができた。もつと多くの人に大分産のしいたけを食べるようになってほしい。

【社会】「地形や気候を生かして」(4年・既習)
・大分県の人々が地形や気候の特徴を生かして特産物を作っていることを考えることができるようにする。(思・判・表)

【国語】「学級の問題について話し合う」(話す・聞く)(既習)
・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えあうために必要な事柄を選ぶこと。(思・話聞ア)
・相手に伝えるように、理由や事例などを挙げながら、ア話の中心が明確になるよう話の構成を考えること。(思・話聞イ)

【国語】「大分市政にも申す～パネルディスカッションを通して～」(話す・聞く)
・本や資料などを活用し、自分の考えを根拠づけたり、より広い視点から見直したりしながらまとめている。【A-ア】

【国語】「健康に良いものを推薦文します」(書く)
・すすめたい(伝えたい)ことのもとなる叙述を引用しながら推薦文を書いている。(B-エ)

【国語】エッセイ集を作ろう(書く)
・自分の身近なできごとを通して感じたことや考えたことを整理している。【B-ア】

「考えるための技法」の活用